

令和3年度実績並びに
令和4年度中間実績

当別町教育委員会 点検・評価報告書

令和4年11月
当別町教育委員会

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（第26条）の規定に基づき、令和3年度の教育委員会の権限に属する事務の管理と執行の状況について、学識経験者の知見を活用して点検及び評価を行うとともに、併せて令和4年度の教育委員会の権限に属する事務の管理と執行の状況の中間実績について、点検及び評価を行い、作成・公表するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目次

第1章	点検及び評価の概要	1頁
第2章	教育委員会の活動状況	
1	教育委員会会議の開催状況	2頁
2	教育委員会会議以外の主な活動状況	11頁
第3章	当別町教育推進計画重点的取組の点検及び評価	
1	重点的取組	13頁
2	令和3年度の点検及び評価	
(1)	学校教育分野	14頁
(2)	社会教育分野	22頁
(3)	子育て・幼児教育分野	27頁
3	令和4年度の点検及び評価	
(1)	学校教育分野	31頁
(2)	社会教育分野	35頁
(3)	子育て・幼児教育分野	38頁
4	資料1～資料11	41頁
第4章	外部評価	
1	学校教育分野について	72頁
2	社会教育分野について	75頁
3	子育て支援・幼児教育分野について	77頁
≪ 資料編 ≫		
1	教育委員会委員名簿	78頁
2	令和3年度当別町教育推進計画	79頁
3	令和4年度当別町教育推進計画	80頁
4	令和3年度教育関係予算・決算並びに令和4年度教育関係予算	81頁

第1章 点検及び評価の概要

1 点検及び評価の対象

教育委員会の事業は年度単位で執行されているため、教育委員会の点検及び評価は次年度に入ってから行うこととしています。

本年度の点検及び評価は、「令和3年度当別町教育推進計画」及び「令和4年度当別町教育推進計画」の重点的取組に位置付けされた施策を点検項目として選定しました。

2 点検及び評価の内容

教育委員会会議の開催状況、審議案件など教育委員会の活動状況を明らかにするとともに、当別町教育予算の概要の重点施策に位置付けされた施策・事業等の点検及び評価については、個別に取組状況を点検し、成果と課題を踏まえ今後の方向性を明らかにしています。

また、教育委員会の活動状況や施策・事業等の点検及び評価の客観性を確保するとともに、今後の取組に反映させるため、教育に関し学識経験を有する方から点検及び評価に関する意見や助言をいただきました。

3 点検及び評価の公表

点検及び評価の結果をまとめた報告書を当別町議会に提出するとともに、町民に広く公表します。

第2章 教育委員会の活動状況

1 教育委員会会議の開催状況

教育委員会の会議は、地方教育行政法及び当別町教育委員会会議規則に基づき、教育長と4人の教育委員が主要な教育施策の策定、変更及び実施に関すること、教育委員会規則等の制定、教育に関する様々な課題について審議しています。

それぞれの会議においては、事務局から付議案件の提案説明や報告事項等について説明が行われた後、教育長と教育委員による慎重な審議を経て、決定、了解、承認されてきたところです。

さらに、会議以外においては、現場の状況を把握したうえでの審議が行われるよう、学校や教育関係施設の視察、各種行事への参加を行っております。

今日の教育を取り巻く課題は、複雑・多様化しており、今後においても諸課題等に対応した施策の推進に向けて、引き続き十分な審議を行い、地域教育の更なる充実のため、町民の積極的な参画と協働の下、多様で質の高い教育行政を積極的に推進していく必要があります。

(1) 会議の開催状況

教育委員会会議については、当別町教育委員会会議規則第4条第1項の規定に基づき毎月定例会を開催し、また、同条第2項の規定に基づき必要に応じて臨時会を開催しています。

令和3年度については、下記のとおり合計13回の会議が開催されたところです。

① 定例会 12回（毎月）

② 臨時会 1回（3月）

令和4年度9月末日までについては、定例会が6回開催されています。

なお、会議以外に事務局との研修会も随時実施しています。

(2) 会議の審議案件

教育委員会会議での審議事項については、当別町教育委員会事務委任規則第1条の規定に基づき審議しています。

また、同規則に規定されていない事務局報告事項についても、質疑応答を行っています。

令和3年度については、下記のとおり審議及び報告が行われたところです。

- ① 当別町教育委員会事務委任規則第1条に基づく審議事項
 - ・議決案件 45件 ・協議案件 18件 ・報告案件 34件
- ② 事務局報告事項 92件
- ③ 付議案件一覧

日 程	付 議 案 件
R3.4.21	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町保育支援者配置事業補助金交付規則制定について ・当別町子育て短期支援事業実施要綱制定について ・臨時代理の報告について (当別町教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則制定について) ・臨時代理の報告について (教育委員会事務局職員の人事異動について) ・臨時代理の報告について (当別町教育支援委員会委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町要保護児童対策地域協議会委員の委嘱について) ・臨時代理の報告について (当別町立西当別小学校・西当別中学校区域学校運営協議会委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町立西当別小学校・西当別中学校区域学校運営協議会委員の委嘱について) <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町義務教育学校教育課程編成委員会設置要綱を廃止する訓令制定について ・当別町一貫教育推進委員会設置要綱制定について ・第1地区教科用図書採択教育委員会協議会委員の選任について ・当別町社会教育委員会委員の委嘱について ・当別町教育支援委員会委員の委嘱について
R3.5.19	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時代理の報告について (当別町要保護児童対策地域協議会委員の委嘱について) <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度6月補正予算について ・当別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・当別町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・当別町教育・保育施設補助金交付規則の一部を改正する規則制定について

日 程	付 議 案 件
R3.6.25	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度6月補正予算について ・ 当別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・ 当別町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・ 当別町一体型義務教育学校建設工事（外構工事）請負契約について <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当別町立当別小学校・当別中学校区域学校運営協議会委員の委嘱について
R3.7.21	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 臨時代理の報告について （当別町スポーツ推進委員会委員の解職について） <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当別町立学校管理規則の一部を改正する規則制定について
R3.8.18	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当別町教育・保育施設補助金交付規則の一部を改正する規則制定について <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度に使用する小学校用、中学校用及び義務教育学校用教科用図書並びに令和4年度使用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度9月補正予算について
R3.9.29	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 臨時代理の報告について （令和3年度9月補正予算（追加分）について） ・ 教育委員会委員の任命について ・ 令和3年度9月補正予算について <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への当別町の結果掲載について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当別町子ども・子育て会議委員の委嘱について ・ とうべつ学園校旗の選定について
R3.10.20	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 臨時代理の報告について （令和3年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」に掲載する当別町の結果について）
R3.11.17	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度全国学力・学習状況調査報告書の作成について <p style="text-align: right;">（次ページに続く）</p>

日 程	付 議 案 件
	<p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・令和3年度12月補正予算について
R3.12.15	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度12月補正予算について ・当別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・とうべつ学園備品購入(校用)契約について ・とうべつ学園備品購入(教材)契約について <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について ・当別町文化財調査審議会委員の委嘱について ・令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への当別町の結果掲載について
R4.1.19	<p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度教育委員会表彰の被表彰者の選考及び決定について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町文化財指定の諮問について
R4.2.16	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時代理の報告について (教育委員会事務局職員の人事異動について) ・臨時代理の報告について (令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」に掲載する当別町の結果について) ・臨時代理の報告について (令和3年度教育委員会表彰の被表彰者の選考及び決定(追加)について) ・令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書の作成について <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町文化財の指定について ・当別町子どもプレイハウス運営業務委託業者の決定について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町立とうべつ学園設置に伴う関係条例の整理に関する条例制定について ・当別町社会体育施設等に係る指定管理者の指定について ・当別町教育・保育施設補助金交付規則の一部を改正する規則制定について ・令和3年度3月補正予算について ・令和4年度教育行政執行方針について ・令和4年度当初予算について

日 程	付 議 案 件
R4.3.3	<p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の人事異動内申について
R4.3.23	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度3月補正予算について ・令和4年度当初予算について ・当別町立とうべつ学園設置に伴う関係条例の整理に関する条例制定について ・当別町社会体育施設等に係る指定管理者の指定について ・当別町教育・保育施設補助金交付規則の一部を改正する規則制定について ・令和4年度当別町社会教育推進計画について <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育財産の用途の廃止について ・教育委員会事務局職員の人事異動について ・教職員住宅の臨時的入居に関する規程の一部を改正する訓令制定について ・当別町立学校児童生徒通学区域に関する規則の一部を改正する規則制定について ・当別町立学校管理規則の一部を改正する規則制定について ・当別町社会教育施設設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について ・当別町教職員住宅管理規則の一部を改正する規則制定について ・当別町総合体育館設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について ・当別町中小屋スキー場設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について ・当別町学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則制定について ・当別町立学校出席停止の命令の手続きに関する規則の一部を改正する規則制定について ・当別町要保護及び準要保護児童生徒就学援助規則の一部を改正する規則制定について ・当別町コミュニティーセンター設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について ・スクールバス管理運営規則の一部を改正する規則制定について ・当別小学校水泳プール管理及び運営に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について ・当別町適応指導教室設置要綱の一部を改正する訓令制定について ・当別町立学校医任用取扱要領の一部を改正する訓令制定について ・当別町立歯科医任用取扱要領の一部を改正する訓令制定について ・当別町立学校薬剤師任用取扱要領の一部を改正する訓令制定について ・当別町通級指導実施要綱の一部を改正する訓令制定について ・当別町特別支援学級等通学援助費支給要綱の一部を改正する訓令制定について ・当別町立学校修学旅行実施基準の一部を改正する訓令制定について <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・運動競技又は文化活動に参加する中学生に係る大会派遣補助金交付要綱の一部を改正する訓令制定について・当別町特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する訓令制定について・小中学生のスポーツ大会参加事業助成要綱の一部を改正する訓令制定について・当別町義務教育学校開校準備委員会設置要綱の一部を改正する訓令制定について・当別町学校給食費預貯金口座振替納付事務取扱要領の一部を改正する訓令制定について・当別町立学校児童生徒通学区域に関する規則施行細則制定について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none">・当別町子どもプレイハウス条例施行規則の一部を改正する規則制定について・当別町保育士等確保対策就労支援給付金交付規則制定について |
|---|

令和4年度9月末日までについては、下記のとおり審議及び報告が行われたところでは、

- ① 当別町教育委員会事務委任規則第1条に基づく審議事項
 - ・議決案件 6件 ・協議案件 3件 ・報告案件 38件
- ② 事務局報告事項 57件
- ③ 付議案件一覧

日 程	付 議 案 件
R4.4.20	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町子どもプレイハウス条例施行規則の一部を改正する規則制定について ・当別町保育士等確保対策就労支援給付金交付規則制定について ・臨時代理の報告について (当別町要保護児童対策地域協議会設置規則の一部を改正する規則制定について) ・臨時代理の報告について (当別町障がい児保育事業実施規則の一部を改正する規則制定について) ・臨時代理の報告について (当別町要保護児童対策地域協議会ケース検討会議設置要綱の一部を改正する訓令制定について) ・臨時代理の報告について (当別町ファミリー・サポート・システム事業実施要綱の一部を改正する訓令制定について) ・臨時代理の報告について (教育委員会事務局職員の人事異動について) ・臨時代理の報告について (当別町教育支援委員会委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町学校給食センター運営委員会委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町要保護児童対策地域協議会委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町要保護児童対策地域協議会委員の委嘱について) ・臨時代理の報告について (当別町社会教育委員会委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町子ども・子育て会議委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町子ども・子育て会議委員の委嘱について) <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>

日 程	付 議 案 件
	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時代理の報告について (当別町立とうべつ学園区域学校運営協議会委員の委嘱について) ・臨時代理の報告について (当別町立西当別小学校・西当別中学校区域学校運営協議会委員の委嘱について) <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町教育支援委員会委員の委嘱について ・当別町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について ・第1地区教科用図書採択教育委員会協議会委員の選任について
R4.5.18	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時代理の報告について (当別町スポーツ推進委員の委嘱について) ・臨時代理の報告について (当別町いじめ問題調査委員会委員の委嘱について) ・臨時代理の報告について (当別町教育・保育施設補助金交付規則の一部を改正する規則制定について) <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・令和4年度6月補正予算について
R4.6.28	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時代理の報告について (令和4年度6月補正予算(追加分)について) ・臨時代理の報告について (当別町教育支援委員会委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町教育支援委員会委員の委嘱について) ・臨時代理の報告について (当別町子ども・子育て会議委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町子ども・子育て会議委員の委嘱について) ・令和4年度6月補正予算について ・令和4年度6月補正予算(追加分)について ・当別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・当別町一体型義務教育学校建設工事(グラウンド整備)請負契約について ・当別中学校解体工事請負契約について <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

日 程	付 議 案 件
	<ul style="list-style-type: none"> ・当別町総合体育館屋上防水改修工事請負契約について ・当別町立とうべつ学園区域学校運営協議会委員の委嘱について
R4.7.20	<p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2期当別町子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて
R4.8.17	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時代理の報告について (当別町教育・保育施設補助金交付規則の一部を改正する規則制定について) <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度に使用する小学校用、中学校用及び義務教育学校用教科用図書並びに令和5年度使用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について ・令和4年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への当別町の結果掲載について
R4.9.28	<p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時代理の報告について (令和4年度9月補正予算について) ・臨時代理の報告について (令和4年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」に掲載する当別町の結果について) ・教育委員会教育長の任命について ・教育委員会委員の任命について ・令和4年度9月補正予算について <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町立学校職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部を改正する訓令制定について

2 教育委員会会議以外の主な活動状況

令和3年度の主な活動状況については、下記のとおりです。

	開催日	会議名等
会議等	令和3年 4月22日	石狩管内教育委員会協議会総会及び教育長会(オンライン)(※)
	令和3年 7月13日	石狩管内地域いじめ問題等対策連絡協議会第1回会議 (オンライン)(※)
	令和3年11月 4日	北海道当別高等学校第2回「活性化協議会」(※)
	令和3年12月21日	石狩管内学校における働き方改革推進会議(※)
	令和4年 2月21日	令和3年度(2021年度)学力・体力向上推進会議 (オンライン)(※)
研修等	令和3年 9月 2日	市町村教育委員会オンライン協議会(オンライン)
	令和3年11月18日	市町村教育委員会オンライン協議会(オンライン)
	令和3年 4月14日	教育委員会研修会 (子育て世帯向け公共賃貸住宅「COCOTTO」内覧) (当別町小中一貫教育推進委員会設置要綱制定について)
	令和3年 4月21日	教育委員会研修会 (教育委員会事務局組織について) (令和3年度児童生徒数及び学級数等について) (成人式について)
	令和3年 6月25日	教育委員会研修会 (とうべつ学園工事現場視察)
	令和3年 8月31日	教育委員会研修会 (とうべつ学園開校業務に係る中間交流について)
	令和3年10月20日	教育委員会研修会 (令和2・3年度点検評価について)
行事	令和4年 3月10日	ロイズタウン駅完成記念式典(※)
	令和4年 3月12日	当別町立中学校卒業式
	令和4年3月19・25日	当別町立当別小学校卒業式
	令和4年 3月19日	当別町立西当別小学校卒業式
	令和4年 3月24日	校舎とお別れする会(当別小学校、当別中学校)(※)
当別町議会(※)		

(※) 教育長出席

令和4年度9月末までの主な活動状況については、下記のとおりです。

	開催日	会議名等
会議等	令和4年 4月14日	北海道町村教育委員会連合会役員会
	令和4年 4月21日	石狩管内教育委員会協議会総会及び教育長会(オンライン)(※)
	令和4年 5月19日	北海道町村教育委員会連合会総会
	令和4年 6月30日	石狩管内小中学校教頭会Bブロック研修会(※)
	令和4年 7月 8日	全国町村教育長会第1回常任理事会(※)
研修等	令和4年 7月15日	北海道市町村教育委員研修会
	令和4年 9月 8日	市町村教育委員会教育長・教育委員研究協議会(オンライン)
	令和4年 8月17日	教育委員会研修会 (（仮）ふくろう図書館の移転に係る検討について)
行事	令和4年 4月7・8日	当別町立学校入学式
	令和4年 4月 8日	当別町立とうべつ学園開校式
	令和4年 4月19日	札幌市立星友館中学校開校式・入学式(※)
	令和4年 5月28日	当別町立とうべつ学園(後期課程)スポーツフェスティバル
	令和4年 6月 4日	当別町立とうべつ学園(前期課程)スポーツフェスティバル
	令和4年 7月 9日	当別夢の国幼稚園運動会
当別町議会(※)		

(※) 教育長出席

第3章 当別町教育推進計画重点的取組の点検及び評価

1 重点的取組

(1) 令和3年度

分野	重点的取組	頁
学校教育分野	① 確かな学力の育成（知）	14
	② 豊かな心の育成（徳）	18
	③ 健やかな体の育成（体）	20
社会教育分野	① 新たな生涯学習プログラムの展開	22
	② 地域学校協働本部事業による児童生徒、学校支援	25
子ども・子育て支援分野	① 子育て支援の充実	27
	② 幼児教育・保育の充実	29

(2) 令和4年度

分野	重点的取組	頁
学校教育分野	① 確かな学力の育成（知）	31
	② 豊かな心の育成（徳）	33
	③ 健やかな体の育成（体）	34
社会教育分野	① 新たな生涯学習プログラムの充実	35
	② 児童生徒支援の充実	36
	③ 図書館機能の充実	37
子ども・子育て支援分野	① 子育て支援の充実	38
	② 幼児教育・保育の充実	39
	③ 発達支援センター機能の充実	40

点検項目	確かな学力の育成（知）	
3年度 達成目標	【達成指標】 全国学力・学習状況調査等学力検査結果全国平均以上	
具体的 取組	1 小中学校連続した教育課程の編成と実施 (1) 「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業改善 (2) 小学校授業改善チーム（チームJ）の視点を取り入れた授業改善 (3) 新しい取り組みへの挑戦（とうべつ未来学、教科担任制、学びのハンドブック） (4) G I G Aスクール事業（一人一台端末配置、授業改善、オンライン授業研究等） 2 学びを支える人的支援 (1) 学校教育指導主事の派遣 (2) 学力向上推進講師の配置（英語、算数・数学、各2名）による教科担任制試行 (3) 小・中学校へのA L T（2名）継続配置による外国語教育の充実 (4) 特別支援教育支援員継続配置（各校2名）による特別支援教育の充実	
	中間評価	最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて進展があった	達成に向けて進展があった
自己評価	【進捗状況】 1－(1)(2)(4) I C T（一人一台端末）を活用したオンライン授業や授業改善を児童生徒、教職員ともに進めている。 （各学校のICT以外の活用の一例） 「Google Jamboard（アプリ）」を使用。お互いの意見を交流し、授業のまとめ・振り返りに活用することで習熟につなげた。 また、次の授業の課題につなげ、学習意欲を高めた。	【成果】 1－(1)(2) 各学校で、学習の流れがわかるように板書を工夫したり、思考の「見える化」にピクトグラムを活用したりするなど、チームJの取組成果を活かした授業改善を進めた。 1－(1)(2)(4) ・I C T（一人一台端末）を活用したオンライン授業や授業改善を児童生徒、教職員ともに進めた。 【資料1】 ・I C Tを効果的に活用した授業改善を推進するため、町教委主催の教職員研修を長期休業中に開催した。 （夏季）研修テーマ：I C Tを効果的に位置付けた授業づくり 参 加 率：83.4% （冬季）研修テーマ：情報セキュリティ対策 参 加 率：77.8%（コロナ対策による定員設定、暴風雪による欠席者有）

	中間評価	最終評価
自己評価	<p>1-(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とうべつ未来学 各校で試行に入っている。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科担任制 <ol style="list-style-type: none"> (1) 小学校担任による教科担任制を実施。 (当別小) 5・6年生 社会・音楽・家庭科 (西当小) 5・6年生 理科、社会 (2) 英語及び理科専科加配を活用した教科担任制を施行している。 (英語) 小学校 週 9時間 中学校 週 10時間 (理科) 小学校 週 23時間 ・学びのハンドブック 当別町学校教育研修推進協議会で9年間の学習内容や家庭学習への取り組み方などを一冊にまとめ、各家庭に配布する準備を進めている。 ・キャリアノート 自分を振り返り、「なりたい自分」につなげるため、今年度からは全児童生徒にキャリアノートを持たせ、キャリア教育の充実をスタートさせた。 <p>2-(1) 学校教育指導主事が定期的な学校訪問（指導主事訪問、面談等）のほか、学校の求めに応じた訪問を実施している。（各校への訪問回数 平均月5回程度）この中</p>	<p>1-(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とうべつ未来学 各校の実態に沿って、「ふるさと教育」「国際理解教育」「キャリア教育」に係る学習を実施し、次年度の実施に向け、各校で整理した成果と課題を学校間で共有した。 <p>【資料2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科担任制 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学級担任による交換授業及び専科加配教諭により、小学校高学年の一部教科担任制を実施。 (当別小) 5・6年生 社会、音楽、家庭科、図工 (西当小) 5・6年生 理科、社会、 (2) 英語及び理科専科加配教員の活用 (英語) 西当小 週 9時間 西当中 週 10時間 (理科) 当別小 週 23時間 ・学びのハンドブック 児童生徒の家庭学習をサポートするための手引書として、当別町学校教育研修推進協議会で9年間の学習内容や家庭学習への取り組み方などを一冊にまとめ、各家庭に配布した。 ・キャリアノート 児童生徒自身の活動記録を蓄積するための「キャリアノート」を、今年度から全児童生徒に持たせ、学期ごとに自身の活動を記録して進路指導等で活用し、キャリア教育の充実を図った。 <p>2-(1) 学校教育指導主事が定期的な学校訪問（指導主事訪問、面談等）のほか、学校の求めに応じた訪問を実施している。（各校への訪問回数 平均月5回程度）この中</p>

	中間評価	最終評価																				
自己評価	<p>で、小中学校の学校経営・学力向上に関する指導や助言、児童生徒及び保護者の相談や対応など多岐にわたり、きめ細やかな指導助言を行っている。</p> <p>2-(2) 平成29年度から継続して学力向上推進講師（英語2名、算数・数学2名）を配置している。TT指導による下位層の引き上げなど学力向上につながっている。</p> <p>2-(3) ALTのネイティブな英語の発音に慣れることで、ヒアリング、スピーキング能力の向上を図った。</p> <p>< 年間派遣時数（予定） ></p> <table border="0"> <tr><td>小1・2</td><td>70時間</td></tr> <tr><td>小3・4</td><td>245時間</td></tr> <tr><td>小5</td><td>210時間</td></tr> <tr><td>小6</td><td>140時間</td></tr> <tr><td>中1～3</td><td>108時間</td></tr> </table> <p>2-(4) 通常学級における「困り感」を持つ児童生徒の指導にあたっており、学校のニーズに応じた指導により、児童生徒の落ち着いた授業環境作りをサポートしている。</p>	小1・2	70時間	小3・4	245時間	小5	210時間	小6	140時間	中1～3	108時間	<p>で、小中学校の学校経営・学力向上に関する指導や助言、児童生徒及び保護者の相談や対応など多岐にわたり、きめ細やかな指導助言を行った。</p> <p>2-(2) 平成29年度から継続して学力向上推進講師（英語2名、算数・数学2名）を配置している。 英語については、担任やALTと連携し、充実した指導体制のもとで授業を行ったことにより、英検IBA（中学校3年生）で、約58%の生徒が英検3級相当の結果となり、文部科学省が掲げる目標（50%以上）を上回るなど、学力向上につながった。 算数・数学については、TT指導による下位層の引き上げなどにより、ほっかいどうチャレンジテストで、一部学年の一部教科で全道平均を上回るなど、学力向上につながった。</p> <p>2-(3) ALTのネイティブな英語の発音に慣れることで、ヒアリング、スピーキング能力の向上を図った。</p> <p>< 年間派遣時数（実績） ></p> <table border="0"> <tr><td>小1・2</td><td>62時間</td></tr> <tr><td>小3・4</td><td>243時間</td></tr> <tr><td>小5</td><td>200時間</td></tr> <tr><td>小6</td><td>140時間</td></tr> <tr><td>中1～3</td><td>92時間</td></tr> </table> <p>2-(4) 通常学級における「困り感」を持つ児童生徒の学習支援など、支援員を配置することにより、当該児童生徒の学習意欲を継続や向上に努めることができた。 また、担任の授業ニーズに応じた授業支援を継続することにより、教職員の負担軽減につながった。</p>	小1・2	62時間	小3・4	243時間	小5	200時間	小6	140時間	中1～3	92時間
小1・2	70時間																					
小3・4	245時間																					
小5	210時間																					
小6	140時間																					
中1～3	108時間																					
小1・2	62時間																					
小3・4	243時間																					
小5	200時間																					
小6	140時間																					
中1～3	92時間																					

	中間評価	最終評価
今後の方向性		<p>「継続して進める」</p> <p>I C Tの活用により効果的な授業方法や、習熟に合わせた授業改善を引き続き行うとともに、I C T活用における家庭学習の推進、緊急時におけるオンライン学習の確立など、継続して進める。</p>
担当係	学校教育係、一貫教育係	

点検項目 豊かな心の育成（徳）		
3年度 達成目標	【達成指標】 いじめゼロ	
具体的 取組	1 教科「道徳」を中心とした心の育成 2 小中学校間の情報共有と発達段階を踏まえた児童・生徒指導 3 小中合同事業の開催（児童会や生徒会、いじめ撲滅集会、ボランティア活動等）	
	中間評価	最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて進展があった	達成に向けて進展があった
自己評価	<p>【進捗状況】</p> <p>1 年間指導計画に基づき、計画的に教科道徳を実施している。行事の延期や縮小で集団での学びは減少しているが、可能な限り心を育むよう全校で取り組んでいる。</p> <p>2 新1年生の情報共有を新学期前に実施し、課題の見られる児童生徒についての理解を図った。</p> <p>3 人権意識を高めるため、小中学校の合同道徳で外部講師による講話を実施した。</p> <p>その後、児童会及び生徒会が主体となり、「いじめ撲滅宣言」を採択。いじめ未然防止の誓いを新たにした。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>講師：弁護士 八代 眞由美 氏 演題：「ストップいじめ！～自分も相手も大切な存在だから」</p> </div> <p>また、北海道教育委員会の実施する「いじめの把握のためのアンケート調査」の5～6月上旬に調査した結果では、いじめであると認知した件数が4件あった。重大ないじめにつながる事案ではなかったが引き続き小さな変化を見逃さず、日常的な観察と情報の共有化を徹底する。</p>	<p>【成果】</p> <p>1 年間指導計画に基づき、計画的に教科道徳を実施できた。感染症対策を万全に行ったうえで、可能な限り心を育むよう全校で取り組んだ。</p> <p>2 新1年生の情報共有を新学期前に実施し、課題の見られる児童生徒についての理解を図った。</p> <p>3 人権意識を高めるため、小中学校の合同道徳で外部講師による講話を実施した。</p> <p>その後、児童会及び生徒会が主体となり、「いじめ撲滅宣言」を採択。いじめ未然防止の誓いを新たにした。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>講師：弁護士 八代 眞由美 氏 演題：「ストップいじめ！～自分も相手も大切な存在だから」</p> </div> <p>また、北海道教育委員会の実施する「いじめの把握のためのアンケート調査」において認知した4件について、日常観察・情報共有等を徹底し、現在はいじめは止まっている。その後においても些細なことでも職員間での情報共有し、いじめの未然防止に努めている。</p>

	中間評価	最終評価
今後の方向性		<p>「継続して進める」</p> <p>今後も教科「道徳」を基本に、児童生徒への意識啓発に努め、「いじめ撲滅宣言」による児童生徒自らが、人権意識やいじめはいけない事などの意識を高める活動を継続して進める。</p>
担当係	学校教育係、一貫教育係	

点検項目 健やかな体の育成（体）		
3年度 達成目標	【達成指標】 全国体力調査、全種目全国平均以上	
具体的 取組	1 小中学校間の情報共有と発達段階を踏まえた体力向上の取り組み 2 一校一実践 3 食育指導	
	中間評価	最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて進展があった	達成に向けて進展があった
自己評価	<p>【進捗状況】</p> <p>1 学校ごとに「体力向上プラン」を作成。 小学校低学年では運動の楽しさを味わわせ、高学年では目標をもって運動に取り組ませるなど、発達段階を踏まえた体力向上に取り組んでいる。 中学校では、小学校での取り組みを元に、教科体育や部活、行事など教育課程全般を通し、体力向上の取り組みを進めている。</p> <p>2 各校において、授業や特別活動等で「縄跳び」を一校一実践として取り組んでいる。</p>	<p>【成果】</p> <p>1 学校ごとに「体力向上プラン」を作成。 小学校低学年では運動の楽しさを味わわせ、高学年では目標をもって運動に取り組ませるなど、発達段階を踏まえた体力向上に取り組んだ。 中学校では、小学校での取り組みを元に、教科体育や部活、行事など教育課程全般を通し、体力向上の取り組みを進めた。 令和3年度体力・運動能力、運動習慣等調査で、一部種目で全国平均を上回る（※）など、取り組みの成果が見られた。</p> <p>※ 全国平均を上回る結果</p> <p>小学校 （男）長座体前屈、反復横跳び、ソフトボール投げ （女）握力、長座体前屈、反復横跳び、50M走、ソフトボール投げ</p> <p>中学校 （男）握力、反復横跳び、立ち幅跳び （女）握力、長座体前屈、反復横跳び、50M走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ</p> <p>2 各校において、体育の授業や特別活動等で「縄跳び」を一校一実践として取り組み、道教委主催の縄跳び記録大会「どさん子元気アップチャレンジ」で入賞者が出るなど、児童生徒の体力向上につながった。</p>

	中間評価	最終評価
	<p>3 食育指導を教育課程に組み入れて、計画的に取り組んでいる。</p> <p>※ 宇和島市から特産品の「養殖マダイ」が送られ、「鯛のムニエル」「鯛どんぶり」に調理し、児童生徒に提供した。</p> <p>併せて宇和島市水産高校の生徒が食育授業の講師となり、両小学校でオンライン授業が実施された。両校3年生が参加した他、宇和島市の姉妹都市（宇和島市、大崎市、仙台市、千曲市）の4小学校とも交流することができた。</p>	<p>3 学年に応じた食育指導を全学年に行った。小学校2年生では、当別産野菜を題材とし、給食で地場産の野菜が使われている事を学ぶことにより、野菜への関心を高める授業を行った。</p> <p>また、8月には当別産食材のみを使用した『当別野菜カレー』を提供し、大変好評だった。</p>
今後の方向性		<p>「継続して進める」</p> <p>コロナ禍で運動する機会が制限される状況であるが、感染症対策を徹底しながら、体力向上につながる取組みを進める。</p> <p>食育指導では、子どもが興味を持つような給食を目指し、今後も授業を工夫する。</p>
担当係	一貫教育係、給食センター	

点検項目	新たな生涯学習プログラムの展開	
3年度 達成目標	【達成指標】 新たな連携事業の展開、各事業参加者満足度 80%以上	
具体的 取組	1 当別高校や北海道医療大学、日本体育大学、指定管理者との連携、地域の人材の活用 2 「当別歴史・文化プロジェクト」の推進（歴史研究、学習講座や講演会の開催） 3 多世代交流事業（高齢者の生きがいがづくり・家庭教育支援）の充実 4 図書館活動活性化のための各種事業の実施	
	中間評価	最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて相当な進展があった	達成に向けて相当な進展があった
自己評価	【進捗状況】 1 「小中高大生 TOWN ミーティング」では、各学校、関係機関と連携して当別町 150 周年記念事業に取り組んでいる。動画制作、記念メニューの開発など、充実した内容を展開できている。 新たな取組みとして、部活動指導に地域人材を活用する「地域運動部活動推進事業（スポーツ庁モデル事業）」を展開している。学校や受託業者、地域人材と連携し、後期の実践に向けて準備を進める。 2 (1) 「歴史学習講座」は、新たに「実践編」を開講し、過年度に中級編を受講してきた参加者が、その経験と知識を活かして未解読文書の解読を進めている。また、Zoom を使用してオンラインによって講座を開催することで、コロナ禍における新たな生涯学習の機会を提供できた。 (2) 吾妻家文書の一般公開については、公開規則に基づき閲覧申請のあった資料を適切に公開している。	【成果】 1 「小中高大生 TOWN ミーティング」では、とうべつ学園ミュージックビデオ作成、音楽祭 YouTube 配信など、動画を活用した事業を展開し、各学校のリーダーとして資質向上につながった。 【資料 3】 「地域運動部活動推進事業」では、陸上部 11 回、野球部 6 回、バスケットボール部 7 回の指導者派遣を行った。外部指導者の技能により教員の指導力向上、生徒の士気向上につながるなどの成果があった。 【資料 4】 2 (1) 「歴史学習講座」の開催は 5 年目となり、町民の古文書に対する関心や解析力の向上に結びついている。Zoom の活用により、参加者が増加した。コロナ禍における新たな生涯学習の機会を提供することができた。 【資料 5】 (2) 「歴史講演会」では、伊達邦直主従の当別開拓から学ぶものと題し、講演会を開催した。開拓者達の役割や精神について学び、当別開拓の歴史伝承の機会となった。

	中間評価	最終評価
	<p>3 「ことぶき大学」は、新型コロナの影響により、前期の予定講座は全て中止した。高齢者の参加者はスマートフォン等の所持率が低く、オンラインでの講座実施が難しい面があるが、通信の定期発行など、できる限りの情報発信に努めた。</p> <p>4 新たな取組みとして、読書に対する興味関心を高めることを目的に「POPコンテスト」を開催した。245名の参加があり多くの力作が出品された。この他にも企画展の実施等により、図書館利用促進を図る。</p>	<p>(3) 吾妻家文書の一般公開については、7件163点の閲覧申請があった。北海道立文書館閲覧ルールに準じ、適切に公開した。</p> <p>3 「ことぶき大学」は、後期については黙々と作業できるモノづくりを取り入れるなど、新型コロナの制限がある中でも工夫して開催した。学習資料「健やかことぶき」などを定期的に発行し、参集できない時期にも高齢者の生きがいをづくりに寄与することができた。</p> <p>コロナ禍によって、講座を開催しても参加を自粛する方がいたことで参加率については54.3%となったが、参加者アンケートでは、5段階中の平均4.8と非常に満足度は高い。【資料6】</p> <p>4 新たな取組みである「POPコンテスト」で出品された作品は、11月～2月に両図書館において展示した。出品した子ども達にとって、読書に対する興味関心を高める機会となったほか、読んだ図書の内容を魅力的に伝える表現力の向上につながった。【資料7】</p> <p>【課題】</p> <p>1 「地域運動部活動推進事業」では、指導者の確保や、予算の確保などに課題がある。</p> <p>1～4 共通</p> <p>新型コロナの影響により、多くの人が一堂に会する事業が難しい状況にあった。</p> <p>コロナ禍では、内容に制限があり生涯学習を推進する上で課題は多い。感染症対策は今後も継続していく。</p>

	中間評価	最終評価
今後の方向性		<p>「継続して進める」</p> <p>各関係機関との連携を深め、各機関の特色を活かした新たなプログラムづくりを行い、生涯学習の推進を図る。</p>
担当係	社会教育係	

点検項目	地域学校協働本部事業による児童生徒、学校支援	
3年度 達成目標	【達成指標】 学校要望 100%達成、児童生徒貸出図書数の増	
具体的 取組	1 地域学校協働本部事業による授業への講師派遣 2 放課後学習会、土曜教室、イングリッシュ・プロジェクト等の充実 3 学校運営協議会に対する支援 4 図書館司書の学校派遣	
	中間評価	最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて相当な進展があった	達成に向けて相当な進展があった
自己評価	<p>【進捗状況】</p> 1 授業への講師派遣については、新型コロナウイルスの影響により、前期は学校からの要望が無かった。 後期は、学校の要望に 100%応えるべく準備を進める。 2 各事業ともに、新型コロナウイルスの影響により、その多くを中止せざるを得なかった。放課後学習会や土曜学習会については、比較的感染が少ない時期に対策をした上で実施し、基礎学力の向上と学習習慣の定着を図った。 3 社会教育指導員が、学校運営協議会委員として参画した。新型コロナウイルスの影響によって協議会の開催はなかった。 4 毎週1回各小中学校に司書を学校に派遣し、図書整理などの図書支援活動を行った。 また、とうべつ学園メディアライブラリーの開設準備においては、館内レイアウトなど、司書の意見を反映させながら今後も進める。	<p>【成果】</p> 1 新型コロナウイルスの影響で中止となった授業（水泳学習、柔道学習等）を除き、講師については 100%派遣できた。【資料8】 2 放課後学習会は、感染対策をし、小学校で45回、中学校で44回実施し、学力向上に寄与した。土曜教室は、化石学習等3回開催した。イングリッシュ・プロジェクトは、3回開催し楽しく英語や外国文化を体験する機会となった。【資料9】 3 社会教育指導員が、学校運営協議会委員として参画した。学校支援活動部会に所属し、学校支援ボランティアの調整や情報交換を行った。 4 年間通じて毎週1回各小中学校に司書を学校に派遣した。 とうべつ学園メディアライブラリー開設準備にあたっては、古い図書の除籍選定、除籍のシステム処理など司書が主体的に行い、大いに貢献することができた。

	中間評価	最終評価
		【課題】 1 ボランティアの高齢化に伴い、新たな人材の発掘が課題である。
今後の方向性		「継続して進める」 1 新型コロナの有無に関わらず、各学校からの要望には引き続き 100%応えられるよう体制を整える。 2 土曜教室では、町内外の施設等の見学・実習が好評である。ニーズが高い内容を中心に事業を展開する。
担当係	社会教育係	

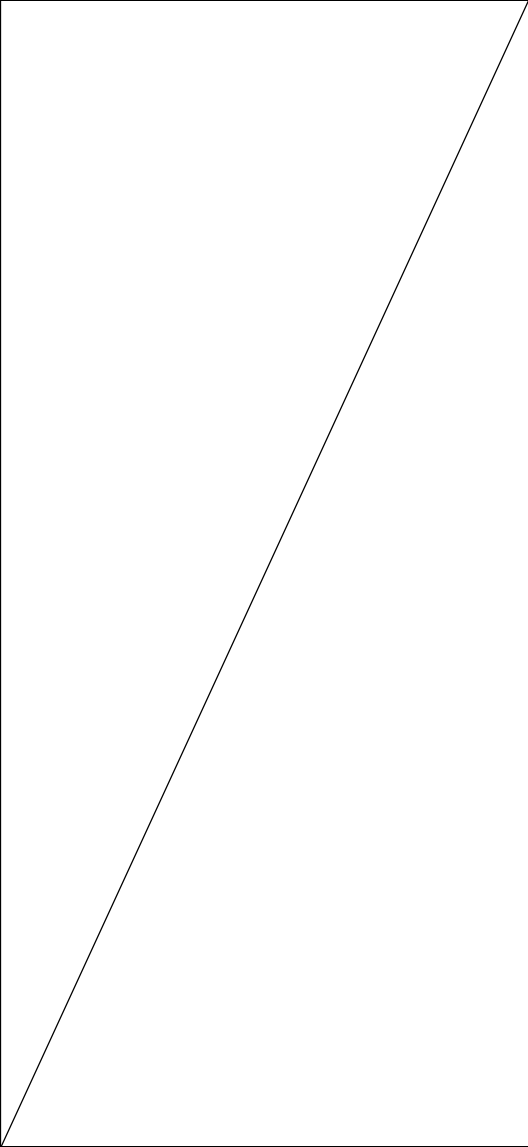
点検項目	子育て支援の充実	
3年度 達成目標	【達成指標】 交流事業の参加者前年度比 10%以上増、児童虐待及び一時保護事案ゼロ	
具体的 取組	1 地域や関係機関との連携による子育て支援 2 子どもプレイハウスでの活動の充実（学習活動、スポーツ活動等） 3 児童虐待防止のための各機関との連携 4 子育て短期支援事業（ショートステイ）の実施	
	中間評価	最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて一定の進展があった	達成に向けて一定の進展があった
自己評価	【進捗状況】 1 子育て支援の中核を担っている「子育て支援センター」は、緊急事態宣言中、休止せざるを得なかったが、6月の宣言解除後は、単独で事業を行うことができた。 〈利用実績〉 前期：71日開設 67組 149人 〈成果〉 ・親子のふれあい時間の設定 ・親子同士の交流の場の設定 ・育児についての指導、助言などにより支援できた。 2 「子どもプレイハウス」は、新型コロナの拡大防止に取り組み開設できた。 今後も感染防止に留意し、行事やイベントの開催、学習・スポーツ活動に取り組んでいく。 3 児童虐待に伴う一時保護案件が、2件発生した。1件は解決、他の1件は関係機関との連携により早期解決をめざす。 また、令和2年度からの継続案件については、家庭訪問による指導を2度行い	【成果】 1 新型コロナウイルス感染防止に取り組みながら子育て支援センターをゆとり 131日、おとぎのくに117日開催した。 新型コロナの影響により多世代交流イベントは実施できなかったが、子育て講座50回（ゆとり26回、おとぎのくに24回）開催し、親子の交流や育児の指導、助言を行うことができた。 〈遊びの広場利用実績〉 219組 471人 2 新型コロナウイルス感染症防止に取り組みながら、行事やイベントの開催、学習・スポーツ活動に取り組むことができた。また、令和4年度からの運営業務委託業者をプロポーザルにより選定し、民間のノウハウを活かした学童保育の準備ができた。 3 児童相談所、学校、福祉部局などと連携し、虐待の恐れのある家庭への見守りや支援ができた。 相談対応件数 26件 一時保護事案 1件

	中間評価	最終評価
	<p>解決を図った。</p> <p>4 「子育て短期支援事業」を開始した。利用はまだ無いが、今後、事業の周知に努める。</p>	<p>ケース検討会議 5回開催</p> <p>4 子育て短期支援事業(ショートステイ)の利用実績はないが子育て支援にかかるセーフティネット体制が強化できた。</p>
今後の方向性		<p>「継続して進める」</p> <p>1 新型コロナウイルス感染症防止のため、昨年度から利用制限を行ったことで利用者数は減少したが、子育てに対する悩みや不安解消し、ゆとりを持った子育てができるよう支援に努める。</p> <p>2 令和4年度から運營業務を委託し、民間の保護者対応、危機管理、人材確保等の経験蓄積を活かし、学習・スポーツ指導を充実させ、安全な児童の居場所づくりに努める。</p> <p>3 児童虐待の未然防止や虐待時の対応を学校、福祉部局、児童相談所などの関係機関と連携し、適切な支援に努める。</p> <p>4 子育てセーフティネットとして事業を継続するとともに周知に努める。</p>
担当係	子育てサポート係	

点検項目	幼児教育・保育の充実	
3年度 達成目標	【達成指標】 待機児童ゼロ	
具体的 取組	1 認定こども園の教育・保育活動の充実 (1) 保育支援者配置事業 (2) 加算保育士配置事業 2 就学に向けた幼保小間の接続プログラムの推進	
	中間評価	最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて進展があった	達成に向けて一定の進展があった
自己評価	<p>【進捗状況】</p> <p>1-(1) 保育支援者配置事業について 保育支援者を各園1名を配置し、業務の負担軽減を図ることができた。 〈保育支援者の主な業務〉 ① 保育環境の整備(保育遊具等の消毒、給食の配膳・片付け等) ② 園外活動時の見守り ③ 保育教材の作成 など保育士の負担軽減に資する業務 〈事業概要-賃金の補助〉 645円×勤務時間(月額10万円を上限)</p> <p>1-(2) 加算保育士配置事業について 国の基準を超えて、各園1名の保育士を配置することができた。待機児童の発生抑制、保育士の業務軽減につなげた。 〈事業概要-賃金の補助〉 北海道最低賃金×勤務時間×日数</p> <p>2 新1年生の情報共有に関する会議を8月に実施。特に、特別な支援を必要とする児童について情報共有がなされ、後期につながる会議をすることができた。</p>	<p>【成果】</p> <p>1-(1) 各園に保育支援者を配置することにより保育士が消毒作業などの保育周辺業務を気にせずに本来業務に専念でき保育の質が向上した。</p> <p>1-(2) 国の基準を超えて各園に1名の保育士を配置することで待機児童の発生を抑えるよう努めたが、年度途中で乳児保育希望者が急増したため、乳児室の面積要因により2名待機となった。</p> <p>2 令和4年度の新1年生の情報を学校と認定こども園が共有し、小学校での受け入れ体制を整えることができた。</p>

	中間評価	最終評価
今後の方向性		<p>「継続して進める」</p> <p>1 幼児教育・保育活動の充実及び待機児童を抑えるため、本事業のほかに有効な事業を検討し、保育士確保及び保育士負担軽減に努める。</p> <p>2 幼保小接続プログラムを一部改訂し、入学後の新1年生の情報共有会議を追加して、更なる保育教諭と小学校教諭との情報共有体制を強化する。</p>
担当係	子ども係	

点検項目	確かな学力の育成（知）											
4年度 達成目標	【達成指標】 全国学力・学習状況等学力検査、N R T 結果全国平均以上											
具体的 取組	1 主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 <ul style="list-style-type: none"> ① 小学校高学年で一部教科担任制を実施 ② 情報教育 ③ 外国語教育 ④ 特別支援教育 ⑤ 学校教育指導主事による指導助言 2 とうべつ未来学 「ふるさと教育、国際理解教育、キャリア教育」の3本柱による教科横断的学習											
	中間評価	最終評価										
目標の 達成状況	達成に向け進展があった											
自己評価	【進捗状況】 1 ①一部教科担任制の実施 学級担任による交換授業及び専科加配教諭により、小学校高学年の一部教科担任制を実施している。 ＜一部教科担任制実施教科（予定）＞ とうべつ学園 国語、算数、理科、 外国語、体育、音楽 西当別小学校 理科、社会、外国語、 体育 <ul style="list-style-type: none"> ②情報教育 端末の利活用を推進し、併せて情報活用能力やモラル教育を充実させるため、当別町デジタル推進事業として講演会の実施を計画している。 ③外国語教育 今年度から、特別支援学級（小学校）でALTによる授業を実施している。 ＜ALT年間総時数（予定）＞ <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>特別支援学級</td> <td style="text-align: right;">24時間（新）</td> </tr> <tr> <td>小1～2年生</td> <td style="text-align: right;">80時間</td> </tr> <tr> <td>小3～4年生</td> <td style="text-align: right;">210時間</td> </tr> <tr> <td>小5～6年生</td> <td style="text-align: right;">245時間</td> </tr> <tr> <td>中1～3年生</td> <td style="text-align: right;">108時間</td> </tr> </table> 	特別支援学級	24時間（新）	小1～2年生	80時間	小3～4年生	210時間	小5～6年生	245時間	中1～3年生	108時間	
特別支援学級	24時間（新）											
小1～2年生	80時間											
小3～4年生	210時間											
小5～6年生	245時間											
中1～3年生	108時間											

	中間評価	最終評価
	<p>令和3年度に実施した英検 I B A の結果から児童生徒の課題を把握し、各学校において課題の改善に取り組んでいる。</p> <p>④特別支援教育 各学校の通常学級に在籍している「困り感」のある児童生徒の支援として特別教育支援員を各2名（計8名）配置し、各小学校の特別支援学級へ介助員各1名（計2名）、病弱でインスリン投与が必要な児童への支援としてとうべつ学園に看護師1名を継続して配置した。</p> <p>⑤学校教育指導主事による指導助言 学校教育指導主事が定期的な学校訪問（指導主事訪問、面談等）のほか、授業改善や保護者対応等に関して、学校の求めに応じた指導助言を実施している。</p> <p>2 とうべつ未来学 各校の実態に沿って実施している。今年度からとうべつ学園では、ふるさと教育・キャリア教育について、町内の土地改良区の協力により、3年生の田植え体験授業を実施している。</p>	
担当係	学校教育係、一貫教育係	

点検項目	豊かな心の育成（徳）	
4年度 達成目標	【達成指標】 いじめゼロ、不登校改善	
具体的 取組	1 いじめ防止、不登校児童生徒支援 2 全教育活動を通じた自他の命を大切にする教育	
	中間評価	最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて進展があった	
自己評価	<p>【進捗状況】</p> <p>1 いじめアンケート調査等を活用し、状況を注視している。 不登校児童生徒や学校への適応が困難な児童生徒に対応するため、各学校からの求めに応じて、北海道のSC・SSWの派遣を活用するとともに、今年度からは、町独自にSC・SSWの派遣を実施している。 <派遣時数（最大）> 192時間</p> <p>2 人権意識を高めるため、小中合同道徳で外部講師による講話を実施した。 その後、児童会及び生徒会が主体となり、「いじめ撲滅集会」を開催し、「いじめ撲滅宣言」を採択するなど、いじめ未然防止の誓いを新たにしました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>講師： 当別町人権擁護委員 （とうべつ学園） 全久寺住職 白井 応隆 氏 （西当別小学校・西当別中学校）</p> </div>	
担当係	学校教育係、一貫教育係	

点検項目	健やかな体の育成（体）	
4年度 達成目標	【達成指標】 全国体力調査、全種目全国平均以上	
具体的 取組	1 1校1実践や新体力テストの実施 2 美味しい給食の提供をはじめとする食育指導の充実	
	中間評価	最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて進展があった	
自己評価	<p>【進捗状況】</p> <p>1 1校1実践として、各校において体育の授業や特別活動等で「縄跳び」に取り組み、全学年で新体力テストを実施している。</p> <p>なお、新体力テストの実施にあたっては、町内のNPO法人やスポーツ推進委員に実施協力を得るなど、地域人材を活用している。</p> <p>2 子どもたちが、見た目にもおいしく食べたくなるような給食を目指し、当別産の大豆で作られた豆乳を使用したチャウダー等13品(既製品を含む)の新メニューを提供した。</p> <p>また、食生活改善協議会の協力のもと、食育指導として、とうべつ学園1年生に『はしの使い方』の食育授業を実施した。</p>	
担当係	一貫教育係、給食センター係	

点検項目	新たな生涯学習プログラムの充実	
4年度 達成目標	【達成指標】 事業への参加者前年比10%増	
具体的 取組	1 当別高校や北海道医療大学、日本体育大学、指定管理者との連携、地域の人材活用 2 「当別歴史・文化プロジェクト」の運営（歴史研究、学習講座や講演会の開催） 3 多世代交流事業（高齢者の生きがいがづくり）の推進	
	中間評価	最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて相当な進展があった	
自己評価	<p>【進捗状況】</p> <p>1 「北海道医療大学連携講座」は、健康関連の講座を中心に開催しており、医療大学の専門性を活かしたプログラムができている。「小中高生トップアスリート育成事業」では、日本体育大学に西当別中学校及びとうべつ学園の女子バスケットボール部を派遣し指導を受ける調整を行ったが、新型コロナの影響により中止となった。【資料10】</p> <p>2 「歴史学習講座」は、吾妻家古文書の研究をテーマに開催している。継続して実施することで古文書解析力が向上している。映画「大地の侍」上映会を開催し、当別町開拓の歴史を伝承する機会となった。【資料10】</p> <p>3 「ことぶき大学」では、参加者ニーズに沿った講座を開催しており、高齢者の生きがいがづくり、仲間づくりの場となっている。今後、多世代交流の機会として当別高校生と合同の調理実習を予定している。【資料10】</p>	
担当係	社会教育係	

点検項目		児童生徒支援の充実	
4年度 達成目標	【達成指標】 学校要望100%、学習会参加者前年比10%増		
具体的 取組	1 授業への講師派遣 2 放課後学習会、土曜教室、地域巡検の実施 3 スポーツ活動に対する支援		
	中間評価		最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて相当な進展があった		
自己評価	【進捗状況】 1 各学校への講師派遣については、要望に応えることができた。後期も学校の要望に100%応えるべくボランティアの確保など準備を進める。 2 「放課後学習会」や「土曜教室」については、計画通り開催し、基礎学力の向上と学習習慣の定着を図った。 「地域巡検」については、北海道大学博物館での地元から出た化石見学や、航空自衛隊当別分屯基地の見学を行い、子ども達が地域のことを知る機会となった。 3 「地域運動部活動推進事業」は、休日部活動の段階的な地域移行に向けて、令和5年度から7年度を目途に計画を策定するよう検討を進めている。		
担当係	社会教育係		

点検項目		図書館機能の充実	
4年度 達成目標	【達成指標】 貸出図書数前年比10%増		
具体的 取組	1 子ども読書活動推進 2 学校図書館への指導・助言 3 主催事業の企画立案 4 町図書館運営のさらなる充実		
	中間評価		最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて進展があった		
自己評価	1 ブックスタート（10ヵ月健診）、ブックセカンド（小学1年生）での絵本のプレゼントや、うちどく通信の発行により、子どもの読書活動を推進している。 2 司書を学校図書館へ派遣し、図書整理や、装飾、POPづくり、おすすめ本の展示などの支援を行っている。引き続き学校図書館の活性化に努める。 3 図書館祭りや、ライブラリーコンサートを計画していたが、新型コロナの影響により中止した。 POPコンテストは、子ども達から作品を募集しており、今後審査や作品展示等を行う予定である。 4 利用者からリクエストを取るなどニーズを捉えた購入図書の選書と蔵書の充実、一定期間テーマを設けた企画展示などを行い、貸出図書数の増加をはじめ、図書館の利用促進を進めている。 【資料11】		
担当係	社会教育係		

点検項目	子育て支援の充実	
4年度 達成目標	【達成指標】 関係機関との速やかな連携	
具体的 取組	1 子どもプレイハウスの保育活動充実（委託初年度に関する評価） 2 社会教育や福祉部等各部署との連携による保護者（子育て）支援 3 児童虐待防止や発生時の学校をはじめとする関係機関との調整	
	中間評価	最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて一定の進展があった	
自己評価	【進捗状況】 1 令和4年度から運營業務委託を行い、民間の保護者対応、危機管理、人材確保等の経験蓄積を活かし、学習・スポーツ指導を充実させ、安全な児童の居場所づくりを実施することができた。 今後、利用者へのアンケート調査などを基に業務委託の評価を行う。 2 子育て支援の中核を担う「子育て支援センター」は、新型コロナの影響により社会教育と連携した多世代交流は実施できなかったが、親子同士の交流や福祉部と連携した育児についての指導・助言等を行うことができた。 〈利用実績〉 （ゆとろ） 93日開催 180組 284人 （ふとみ） 67日開催 73組 152人 3 相談対応件数 15件 事案発生に対し児童相談所、警察、学校等など関係機関と連携し見守りや家庭への支援ができた。	
担当係	子育てサポート係	

点検項目	幼児教育・保育の充実	
4年度 達成目標	【達成指標】 待機児童0、幼保小間の連携	
具体的 取組	1 保育士確保のための支援 2 認定こども園の特別支援教育に係る支援 3 幼保小間の接続プログラム（令和2年度作成）の遂行	
	中間評価	最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて一定の進展があった	
自己評価	<p>【進捗状況】</p> <p>1 保育士等確保のため、引き続き保育士等就労支援事業や保育支援者配置事業を行うとともに、今年度からは保育士等確保対策就労支援給付金を設け、必要とする保育士等の確保に努めた。</p> <p>2 特別な支援を必要とする園児には保育士を加配し、安全な保育に努めた。 <障がい児保育の加配保育士 7名配置></p> <p>3 「幼保小接続プログラム推進会議」を開催し、新1年生及び来年度の就学児の情報共有ができた。 今年度の新1年生は、幼保小接続プログラムの実施により小学校への接続は円滑に行われた。</p>	
担当係	子ども係	

点検項目	発達支援センター機能の充実	
4年度 達成目標	【達成指標】 利用者満足度90%以上	
具体的 取組	1 療育支援の質向上のための関係職員の専門性の向上 2 発達支援センターと学校・保護者との適切な情報共有 3 福祉部局との連携による早期療育支援	
	中間評価	最終評価
目標の 達成状況	達成に向けて進展があった	
自己評価	【進捗状況】 1 臨床発達心理士による児童の指導の助言及び発達検査の指導を受け、より適切な指導を行うことができた。 また、各種研修会へ積極的に参加し、職員のスキルアップを図った。 ・研修参加者7名 6講座 延べ23回 2 発達支援センター、学校及び認定こども園間で常に情報共有を行うとともに、学校のみならず関係機関との連携が必要な場合は支援ケース会議を開催することができた。 3 乳幼児健診時に発達の遅れが疑われる児童を発達支援センターに繋ぐことで早期に療育を行い、保健福祉課の保健師と連携した支援ができた。	
担当係	子ども係	

◆ 当別小学校 ◆	
ICT 活用の状況	<p>【児童の様子】</p> <p>基本的な操作を理解し、スムーズに学習中の端末使用ができています。細かな一つひとつの指示がなくてもスタートの準備ができたり、必要に応じ、率先して調べたりする姿も見られるようになってきました。</p> <p>【教職員の様子】</p> <p>ミニ ICT 研修を重ねたり、業務内で便利な使い方を推奨したりしてきたこともあり、学習指導や学級経営業務にも ICT の活用が広まってきています。多くの先生方が戸惑うことなく、活用することができています。</p>
活用による成果	<p>ICT のもつ可能性を考え、それらを授業の中で効果的に取り入れようとする教職員が増えています。児童にとっては、興味を持って学習に向かうことができたり、自分の興味関心に合わせて調べやすくなったりしたこと、学ぶことの楽しさを感じ、熱心に取り組む姿が見られます。個の興味関心や学び方に応じて活用できることや、交流を促すツールとして、大きな成果と可能性を感じています。</p>
今後の展望	<p>これまでの学習方法と効果的に組み合わせ、より「自ら学ぶ姿勢(主体性)」や「考えを広げ、深められるような対話・交流学习(対話的で深い学び)」を促す活用方法を考え、追究していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを持ち、それを相手にわかりやすく伝えようとする態度、スキルの育成 ・ICT を活用し、自分の考えを広げ、深めていくことができる対話・交流方法の研究 ・自分たちの課題を認識し、その解決策を見出していけるような学習過程の確立と ICT 活用方法の研究



【1年生 算数科の授業】

教科書の QR コードを読み取り、計算などの復習に活用しています。容易に何度も反復することができ、低学年でも使いやすいものも多いため、有効活用することができています。



【2年生 生活科の時間】

公園に出かけて、自分が気に入ったものを写真に撮影しました。撮影したものを保存し、後で見て、絵日記にしました。絵日記をもとに、他の児童と交流を深めました。



【3年生 総合的な学習の時間】

愛媛県宇和島市の協力もあり、宇和島市や全国の小学校とリモート接続して、真鯛養殖について学びました。学校にしながら、遠い地域との交流をすることができました。



【5年生 ローマ字入力】

ローマ字入力は、端末使用に欠かせないものです。「キーボー島アドベンチャー」というサイトを利用し、楽しみながらスキルを上げる取り組みを全校的に推奨しています。



【4年生 社会科の授業】

Google Meet でつながりながら、校内の防火施設調べをしました。お互いがどこにいるのか、何を調べているのかを確認しながら、調べ学習をすすめました。

児童の学習状況を把握しながら、個に応じた学びを展開することができました。

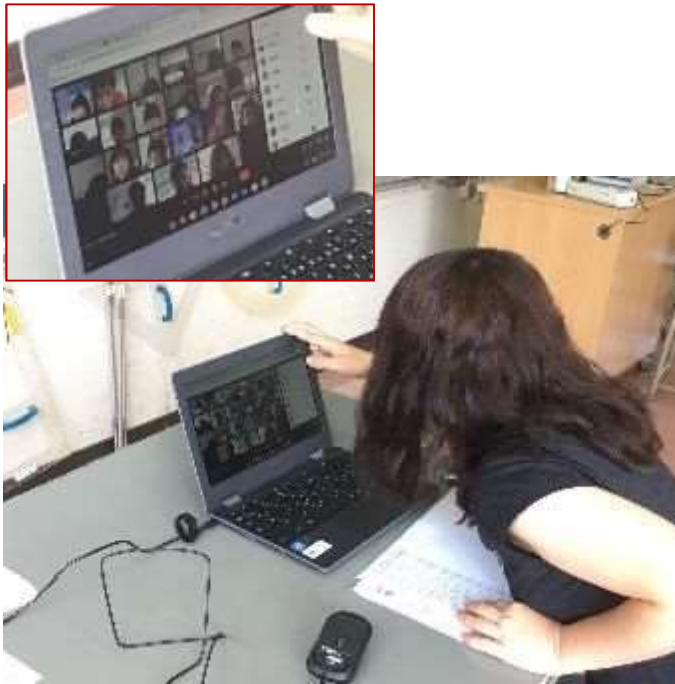


【6年生 国語科の授業】

物語『やまなし』の場面をイラストで表現させています。場面の状況を客観的に把握させ、読み取りの手助けとしていきます。お互いの描いたイラストの交流も行い、指導に役立てました。

【学びの充実・指導の充実に向けた、その他の取り組み】

- ・植物の観察記録を撮影、保存
 - ・図工の鑑賞
 - ・計算、漢字、地図記号、都道府県名などの反復練習
 - ・工場見学、学習関連番組の動画視聴
 - ・サイトを活用したプログラミング学習
 - ・宿泊学習、修学旅行などの現地事前学習
 - ・体育の時間に動画を撮影し、自分の動きを振り返る学習
 - ・ネット記事を読んで意見文を書く学習
- 等

**【夏休み期間中の持ち帰り】**

家庭での接続状況や、活用する方法について確認するため、5・6年生のみ、夏休みに ChromeBook を持ち帰りました。休業が明ける2日前には、リモート学級活動を行い、健康状態や夏休みの課題の進捗状況などを確認したり、質問を受けたりしました。

**【授業のリモート配信】**

出席停止やコロナ不安等で、欠席が長期間にわたり、本人が健康な場合には、端末を持ち帰り、授業のリモート配信を行っています。朝・帰りの会、国語・算数を中心に、学習に参加し、学びを止めない工夫・活用をしています。

※現在、全学年の持ち帰りが可能です。

◆ 西当別小学校 ◆

<p>ICT 活用の状況</p>	<p>【児童の様子】</p> <p>1～6年生まで、各教科、特別活動の中で、画像撮影、ネットによる調査、グーグルアプリの活用等を行っています。これにより、主体的に課題に取り組み、協働学習を繰り返すことで、より深いところでの学び、気づきを体験しつつあります。</p> <p>【教職員の様子】</p> <p>授業の中でChromeBookを活用する場面が確実に増えています。これまで紙面による交流を主とした授業構成から、ChromeBookを使った意見の交流など、同時編集できるアプリ（ジャムボード、スプレッドシートなど）によって、発表できなかった児童にもスポットを当てることが出来ます。これからは、紙面とChromeBookの良いところを活用しつつ、授業の流れや育む力などの選択肢を増やしていきます。</p>
<p>活用による成果</p>	<p>上の欄にも明記しましたが、ChromeBookのアプリを活用することで、今までは、発表までたどり着けなかった児童が、自分の意見を書き込んでみんなに認めてもらうような場面が増えてきています。そこから挙手をして発表するという流れも生まれてきました。また、『キーボー島アドベンチャー』といったサイトを活用することで、学習中に自分の意見をタイピングするスピードも上がってきています。</p> <p>そこから学習に対する自信や自己肯定感を高めることにもつながっていると感じます。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>現在3年生から6年生までは、（3年生は9月中）家庭に持ち帰ってオンラインでのつながり確かめることが出来ています。今後は、1，2年生にも条件付き（保護者同席）でChromeBookを持ち帰り、接続のテストを行う予定です。また、全校では「週末」の持ち帰りも計画中です。課題をChromeBookで配布して、解答したものを担任に送信する内容です。保護者に、家庭での取り扱いルールの定着をお願いすることや、ChromeBookの必要性を感じてもらうことが今後の取組みの中心になってきます。</p>



【1年生 生活科】

札幌円山動物園での校外学習のために、ChromeBookを使って、動物の調べ学習を行いました。この後、動物園に行って動物たちをChromeBookで撮影し、思い出の絵を描く予定です。



【3年生 理科】

「花のつくりを調べよう」という学習課題に取り組みました。玄関前のハウセンカを撮影し、教室に戻ってから観察カードに特徴や気が付いたことなどを書き込みました。



【3年生 学級活動】

宇和島市の水産高校の生徒さんが考えた養殖真鯛の学習に、他の県の小学校の児童と一緒にリモートで参加しました。



【4年生 理科】

電流の流れを調べる学習課題に取り組みました。ジャムボードで電流がどのように流れるかを予想しお互いの考えを交流しました。その後、実際に実験観察を行い確認をしました。



【4年生 理科】

春に咲く桜を ChromeBook で撮影し、気が付いたことをジャムボードに書き込んで、交流しました。全体交流を通して、桜の花びらの数や、おしべ・めしべなど植物の花の特徴をまとめました。



【5年生 どうべつ未来学】

本来であれば「道民の森」にて、NPO 法人「当別エコロジカルコミュニティー」の山本先生に森の様子についてのお話を聞く予定でしたが、感染症対策のため、リモートで森の学習を行いました。リモートで森と学校をつなぐことで、子どもたちは実際に行ったかのように、興味を持って取り組んでいました。

2. 授業改善 ～効果的活用と指導方法の工夫・改善～

西当別小学校



【4年生 国語】

「ごんぎつね」の読解に ChromeBook を活用しています。デジタル教科書を使って、自分の意見の根拠となる文章を探したり、授業の振り返りにジャムボードを活用したりしています。観点ごとに色を変えることで子どもたちも、取り組みやすくなります。



【6年生 朝の会】

夏休み中、5・6年生の ChromeBook 持ち帰りの練習を行いました。そして、新学期前日に『Google Meet』を使って、オンライン「朝の会」に取り組みました。10分程度の短時間でしたが、いつでもつながって学習に取り組めることがわかりました。

【3年生以上】 オンラインタイピング『キーボー島アドベンチャー』に登録して、隙間時間を利用してタイピングに親しんでいます。オンラインなので全国の子どもたちと競うことができ、本校の子どもたちも楽しみながら日々練習をしています。

3. 学びを止めないために

西当別小学校

【夏休み期間中の持ち帰り】

夏休み前に ChromeBook を持ち帰り、家庭科「朝ごはんをつくろう」に取り組みました。家で調理し、ChromeBook で画像に撮って、課題提出をしました。

【授業のリモート配信】

感染症の影響による出席停止やその他の理由により、登校できない児童に ChromeBook で授業風景を配信しています。

◆ 当別中学校 ◆

ICT 活用の状況	<p>【生徒の様子】</p> <p>ChromeBook を使用することにより、一人一人のペースで課題に取り組むことができています。操作方法や有効な情報を教え合う姿も見られ、学び合いがスムーズに行われています。</p>  <p>【教職員の様子】</p> <p>先生方からは、課題の提示・提出・返却がスムーズ、パフォーマンス評価に適している、全校生徒分の評価がプリントによる評価よりもスムーズにできるなどの声が聞かれ、効率的に授業や業務を行うことができています。出席停止や三密回避対応が求められる中、職員室内で ChromeBook 活用のアイデアやその効果などを共有する姿が見られます。</p>
活用による成果	<p>教職員は、生み出した時間を生徒との活動や対話の時間などにあてることができています。生徒は、自分のペースで調べたりまとめたりすることができ、一人一人に合った学習を進め、習熟の程度に応じた学びにつながっています。</p> 
今後の展望	<p><学びを保障する取組の推進></p> <p>出席停止生徒に対しては、オンライン学習による学びを止めない取組みが定着しつつあります。今後も緊急時に素早く対応し、オンラインでの学習支援で生徒に寄り添った学習の展開に努めます。</p>  <p><ツールとしての活用・質の高い学びを目指して></p> <p>研究部を中心に、互いの日常実践の集約・交流還元を行っています。ICT の効果的な活用について研究し、さらなる授業改善を進めます。</p>



【理科の授業】

「身近な生物の観察」という単元では、中庭で生物を撮影し、インターネットで調べて特徴についてまとめ、レポートを作成・データ提出しました。提出後は教師による評価を行い、ChromeBook を用いて返却しました。



【美術の授業】

「なぜか気になる情景」の授業で、ChromeBook を持って校内を歩き、撮影しました。画像の提出後は、写真を発表し合い、他の人との見方や感じ方の違い、構図の工夫について学びました。



【総合的な学習の時間】

修学旅行には、各グループ1台のChromeBook を持っていき、自主研修中に撮影をしてきました。まとめの学習では、その画像を用いて発表資料を作成しました。各自で同時に画像にアクセスできるので作業がスムーズに進みました。



【自分で手順を確認しながら製作】

実技の授業では進度に差が出やすく、一斉指導が難しいところです。本時では作業が早い生徒は動画で手順を繰り返し確認しながら行い、教師は教室内を巡回して裁縫を苦手とする生徒を個別に指導しました。これにより1時間で全員が本時の目標を達成できました。

【パフォーマンステスト】



英語では教科書の音読テストを、音楽ではリコーダーの実技テストの提出をChromeBookを使って行いました。生徒は、何度も動画で撮影して確認・練習し、最後にデータを提出しました。教師は、机間指導をして質問に答えるなど、細かな指導を行うことができました。

【学校行事のオンライン配信】

全校生徒が一堂に集まることが難しい状況にあるため、壮行会などの行事や集会の様子を教室に配信しています。1つの学年が体育

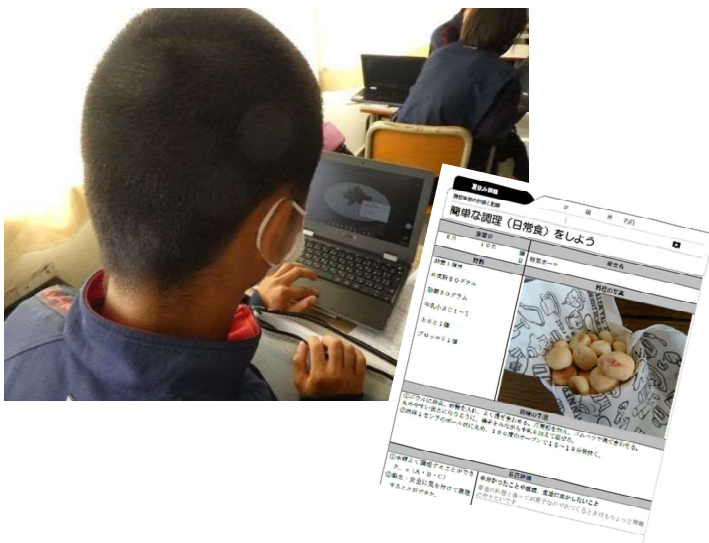


館、他学年は教室というハイブリッド方式も行っていきます。

【全学年 学校祭の取組】

作品制作に向けて ChromeBook で選んだ画像を Classroom に保存し、その画像を見ながら話し合いが行われています。画面を見ながら共同編集できる上にペーパーレスで、作業時間の効率化にもつながっています。





【夏休み期間中の持ち帰り】

夏休み前に ChromeBook を持ち帰り、「簡単な調理をしよう（日常食の調理）」に取り組みました。夏休み中に家で調理し、ChromeBook で画像に撮ってレポートを作成し、データで課題の提出をしました。



【授業のオンライン配信】

出席停止になった場合、ChromeBook で授業を配信し、自宅にいる生徒が授業を受けられるようにしています。



夏休み明けに出席停止で登校できなかった生徒も、先の家庭科の宿題を他の生徒と同時間に提出できました。



【期末テストのリモート受験】

出席停止により学校でテストを受けられない生徒には、期末テスト当日の朝に問題と解答用紙を自宅に届けました。ご家庭の協力もいただき、生徒は教室と同じ時間帯でテストを受けました。終了後には、職員が解答用紙を回収に行きました。

◆ 西当別中学校 ◆

ICT 活用の状況	<p>【児童生徒の様子】</p> <p>生徒の適応能力が高く、違和感なく、次々と受け入れ、意欲的に授業に取り組んでいます。生徒会活動のアンケートなどにも活用しています。</p>  <p>【教職員の様子】</p> <p>どの職員も積極的に活用しようと、前向きに研修に取り組む、わからないところは、わかる先生方に教えてもらい、授業、集会活動等、多くの場面で活用しています。</p> 
活用による成果	<p>感染拡大防止の観点から、出席停止となった場合、生徒や保護者が学習の遅れに対する不安を抱えていることを教職員も感じていました。しかし、リモートでの授業配信により、不安は確実に小さなものへと変化しました。</p> <p>日常の授業の中でも、話し合い活動が十分に行えない状況に対する危惧もありましたが、ChromeBook の活用により、軽減されていることを実感しています。</p>
今後の展望	<p>一番大きな成果は、リモートで授業の配信をすることにより、出席停止中の生徒の学習リズムが維持され、保護者の安心にもつながっていることだと感じています。本校では前期期末テストで、初めてリモート受験を行いました。新たな課題は出てきますが、解決するために協力することで、職場の雰囲気も良くなっているように感じます。</p> <p>今後もいろいろな問題は出てくると思いますが、これからも、全教職員で知恵や意見を出し合い、ICT を活用し、子どもたちのため、保護者のため、より良い学習環境を創っていきたいと思います。</p>

1. 子どもたちの姿～学びの充実～

西当別中学校



【3年生 総合的な学習の時間】

修学旅行のまとめの学習では、一人一台のタブレットでプレゼンソフトを使い、取り組みました。学年での発表会では、聞いている生徒もすぐに感想を入力できるようにタブレットを膝の上に置いています。



【2年生 技術の授業】

「栽培」の学習で、自分たちで作る作物の計画から実習まで ChromeBook を使い、取り組んでいます。作物の成長過程も撮影し、記録しています。データを保存して、まとめに活用する予定です。



【特別支援学級 小中交流会】

毎年、当別・新篠津の小中学校の特別支援学級で行っていた交流会を、今年リモートで実施しました。それぞれの学校紹介などを行い、親睦を深めることができました。

2. 授業改善～効果的活用と指導方法の工夫・改善～

西当別中学校

【4月始業式 校長先生の話】



新2・3年生を前に始業式で学校長が話をしている様子です。プレゼンテーションソフトを使い、視覚にも訴えながら今年の重点目標などを伝えました。

集中して話を聞いている感じがひしひしと伝わってきました。

【6月中体連壮行会】



現状、密を避けるということで、全校生徒を体育館に集めての集会は行っていません。「集めることができない」から「やらない」ではなく、少しでも今まで集会の良さを残しながらできないかを先生方で考えています。壮行会も選手は体育館で、応援生徒はホールでリモートでつなぎ行いました。



【家庭科の授業】



授業の振り返りの場面で、この時間に学んだことや自分が感じたこと等をChromebookに打ち込み、整理しています。教科担任は、後から一覧にして確認することができ、評価材料として活用しています。

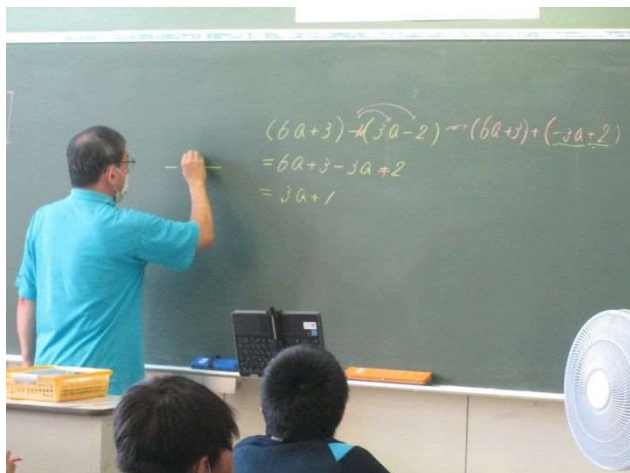
3. 学びを止めないために

西当別中学校



【夏休み期間中の持ち帰り】

夏休み前に ChromeBook を一度家庭に持ち帰り、全員の通信環境に問題がないことを確認した上で、夏休みの持ち帰りを行いました。英語の宿題や夏休み中の進路情報などに ChromeBook を活用しました。



【授業のリモート配信】

本人は元気であっても家族の風邪症状等で出席停止になった場合、その日の授業を ChromeBook で授業を配信し、自宅にいる生徒も授業を受けられるようにしています。



【期末テストのリモート受験】

学校でテストを受けられない生徒には、ご家庭の協力をいただき、期末テスト当日の朝に問題等を取りに来ていただきました。教室と同じ時間帯でテストを受けました。終了後には、解答用紙を届けていただきました。

1. 「とうべつ未来学」実践内容

学年	ふるさと教育	国際理解教育	キャリア教育
1年生	きせつとなかよし	外国語活動 ・英語に親しみ、話すことや聞くことに慣れる	かぞくにここに大きくせん
2年生	まちが大すきたんけんたい	外国語活動 ・英語に親しみ、話すことや聞くことに慣れる	えがおのひみつたんけんたい
3年生	JAとのおにぎり集会を計画していたが、調整がつかず開催できなかった。 ・バケツ稲に取り組み、稲の成長を観察・記録 ・お米について各自で課題を設定し、調べ学習をまとめてみる。	国際交流教室を計画していたが、コロナ禍により実施できなかった。 ・身の回りの「外国探し」を行った。 ・日本について簡単に調べる学習を行った。 ・ALTの出身地であるカナダとイギリスについて調べた。	ふるさと教育の内容と重なる ・キャリアノートの活用 ・社会科の当別町内見学。見学を通して分かったことをまとめた。
4年生	「大豆博士になろう」 ・インターネットを使い大豆について調べる ・大豆生産体験 ・大豆加工体験	「世界の国からこんにちは」 ・インターネットを使い、自分が興味を持った国を調べ、タブレットを使用して発表した。	(ふるさと学習と同様)
5年生	・道民の森で宿泊学習に関連し、四季の森の様子を事前に調べ、宿泊学習の際に、ボランティアの方や道民の森職員の方などの指導の下、森の散策や木工の体験などを行った。 ・学習した内容はタブレットを使用して新聞形式にまとめた。	・スウェーデン交流センターを見学。スウェーデンの日常生活や学校の様子、食文化などについて話を聞いたり、展示パネルを見たりして学んだ。 ・帰校後、学んできたことをクイズにして考え、互いに出し合って復習する学習を行った。	・JA北石狩青年部のご協力をいただき、大豆の播種、管理作業、収穫体験を若葉地区の農園で行った。 ・収穫した大豆を使って、豆腐作りを行った。
6年生	「ふるさと大発見!!」 ・修学旅行を通して当別町と小樽市を比較しまとめる活動を行った。	「JICA出前講座」 ・新型コロナウイルス感染防止のため、実施できなかった。	「自分探しの旅」 ・生まれてから6年生までの歩みを振り返り自分史を作るとともに、将来のことにも目を向けさせ、なりたい職業などを考えた。

2. 「とうべつ未来学」実践の成果・課題（改善を検討している点）

<p>< 成果 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画されていた内容をおおむね実践できた。各方面の関係者に講師を依頼して実施するなどして、子どもたちが興味・関心を持って学習に取り組むことができた。タブレットの導入も学習活動の幅を広げた。 <p>< 課題（改善を検討している点） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生の「お米博士になろう」の指導をJA北石狩青年部に依頼したが、青年部の再編があるため、令和3年度は実施できなかった。
--

1. 「とうべつ未来学」実践内容

学年	ふるさと教育	国際理解教育	キャリア教育
1年生	『きせつと なかよし』	『外国語活動』 ・英語に親しみ、話すことや聞くことに慣れる活動を行った。	『かぞくにこにこ 大きくせん』
2年生	『まちが大すき たんけんたい』	『外国語活動』 ・英語に親しみ、話すことや聞くことに慣れる活動を行った。	『えがおのひみつ たんけんたい』
3年生	『お米はかせになろう』 ・田植え体験（今年度未実施） ・稲の観察（今年度未実施） ・稲刈り体験（今年度未実施） ・脱穀体験（実施） ・お米発表会、おにぎり集会	『外国語活動』 ・自国の文化に愛着を持ち、他の国や地域の文化を知る活動	ふるさと教育に同じ
4年生	『大豆博士になろう』 ・大豆の栽培活動 ・課題発表会 ・味噌づくり体験 『植樹体験』 ・石狩川河川敷 植樹体験	『外国語活動』 ・自国の文化に愛着を持ち、他の国や地域の文化を知る活動	ふるさと教育に同じ
5年生	『森は生きている』 ・現地学習①（今年度未実施） ・事前学習 ・現地学習②（宿泊学習） ・現地学習③ ・発表会	『レクサンド市について学ぶ』 ・スウェーデン交流センター訪問	『ふれあいバス』 『福祉体験』
6年生	『当別町と小樽市を比較しよう』 ・見学の計画 ・修学旅行自主研修 ・発表会	『JICA 出前授業』	『自分探しの旅～未来への自分へ』 ・中学校入学説明会 ・卒業論文

2. 「とうべつ未来学」 実践の成果・課題（改善を検討している点）

<p>< 成果 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・とうべつ未来学の全体像が明らかになり、当別町として目指す目標がはっきりとしたことから、学校としての取り組みを行いやすくなった。 <p>< 課題（改善を検討している点） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際理解教育の部分の内容の充実が必要。 ・新しい活動の実施に向けて、外部機関との連絡調整が必要。 ・感染症拡大防止ために内容を削減することのないような実施の在り方も、今後は探っていかなければならないのではないか。
--

1. 「とうべつ未来学」実践内容

学年	ふるさと教育	国際理解教育	キャリア教育
1年生	<ul style="list-style-type: none"> 学校祭でSDGsに関わるプレゼンテーションを全校に向けて実施した。 SDGsのゴールから1つ選び、参観日で発表した。 	<ul style="list-style-type: none"> JICA訪問を実施。SDGsや途上国との格差、南北問題などについて理解を深めた。 	<ul style="list-style-type: none"> キャリアノートを活用し、節目ごとに自己を振り返り、目標を明確にして日常の活動を進めた。
2年生	<ul style="list-style-type: none"> 学校祭でSDGsに関わるプレゼンテーションを全校に向けて実施 SDGsとかかわりの深い事項と結び付けて、とうべつの郷土に関わる学習に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 諸活動を通じて、国際理解を深めた。 	<ul style="list-style-type: none"> キャリアノートを活用し、節目ごとに自己を振り返り、目標を明確にして日常の活動を進めた。 職業に関わる心構えや、適正について学習した。 高校説明会を通して、望ましい進路意識や、日常生活で心がけることについて理解を深めた。
3年生	<ul style="list-style-type: none"> 学校祭でSDGsに関わるプレゼンテーションを全校に向けて実施した。 社会科の授業で本時の学習内容がSDGsのどのゴールに該当するかを確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> 諸活動を通じて、国際理解を深めた。 	<ul style="list-style-type: none"> キャリアノートを活用し、節目ごとに自己を振り返り、目標を明確にして日常の活動を進めた。 高校説明会を通して、望ましい進路意識や、日常生活で心がけることについて理解を深めた。

2. 「とうべつ未来学」 実践の成果・課題（改善を検討している点）

<p>< 成果 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 3つの分野で整理されたことにより、学年内での指導や学年間の系統的な指導を意識して行うことができた。 SDGsに関する学習を起点に、調べ学習やJICA訪問など、教育活動の充実を促すことができた。 発表する場面が拡充したことにより、生徒のコミュニケーション能力の伸長を図ることができた。 日常的にICTを活用するようになり、生徒の情報活用能力の育成につなげることができた。 <p>< 課題（改善を検討している点） ></p> <ul style="list-style-type: none"> これまで行ってきたことと、新たに行うことの置き換えを含め、活動の精選をする必要がある。 次年度も実施できるよう、今年度の実績を洗い出し、時数を設定する必要がある。
--

1. 「とうべつ未来学」実践内容

学年	ふるさと教育	国際理解教育	キャリア教育
1年生	<ul style="list-style-type: none"> ・「当別町調べ」で当別町の各場所へ赴き、それぞれの良さについて調べた。 ・調べた内容を、観光パンフレットにまとめ、まちづくりへの参画を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・JICA 訪問を行い、事前にSDGsの項目を調べ、訪問先で内容を深め、各自まとめる作業を行い、異文化への理解を深めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアノートの定期的な実施。 ・「当別町調べ」の中で、働くことについて学んだ。 ・進路学習を行い、高校入試の仕組みについて触れた。
2年生	<ul style="list-style-type: none"> ・「札幌自主研修」がコロナのため実施できなかった。 ・「宿泊学習」での行き先をウポポイへ変更し、事前事後の学習及び現地での訪問を通し、アイヌの人たちの歴史・文化等への理解を深めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「職業体験」がコロナ禍のため実施できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアノートの定期的な実施。 ・高校説明会を実施し、自分の進路について考えるきっかけとした。
3年生	<ul style="list-style-type: none"> ・「修学旅行での交流」がコロナのため実施できず、動画を送るのみの実施となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍による修学旅行先変更のため実施できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアノートの定期的な実施。 ・入学試験への取り組み（願書書き、面接等）を通し、自分の進路希望先決定について進めた。

2. 「とうべつ未来学」 実践の成果・課題（改善を検討している点）

<p>< 成果 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアノートの統一した取り組みは、小中の連携や児童・生徒自身の成長もでき、良かった。 <p>< 課題（改善を検討している点） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校間の活動内容の交流や、小中連携した取り組みの交流を、より密にしていきたい。

令和3年度（第14期）当別町小中高大学生TOWNミーティング 実施状況

1 参加 各学校の児童会・生徒会役員・学級委員等 代表者3名程度
当別小学校、西当別小学校、当別中学校、西当別中学校、
当別高等学校、北海道医療大学

2 内容 テーマ「当別町150周年事業を実施しよう」

【チーム活動】

当小・当中チーム 「とうべつ学園校歌MV作成」

令和4年4月開校の義務教育学校「とうべつ学園」校歌MV（ミュージックビデオ）を作成を通じて、子どもたちが学校の未来や当別町の良さについて考える機会とする。

企画会議
撮影など 活動5回



西当小・西当中チーム 「当別町オンライン音楽祭」

町内の小学校・中学校・高等学校・大学、一般の音楽グループなどが一堂に参加したオンライン音楽祭の動画を作成をする。作成した動画は、YouTubeによる動画配信を行う。

企画会議
オープニングムービー撮影など
活動3回



高校生・大学生チーム 「記念メニュー開発」

当別町の食材を使って、道の駅事業者と連携した150周年記念メニューの開発、販売を行う。

グルメミーティング
記念メニュー販売 など
活動3回



令和3年度地域運動部活動推進事業について

1 目的等

現在進められている教職員の働き方改革の観点から、国では平成31年1月25日の中央教育審議会答申で、地域で部活動に代わり得る質の高い活動の機会を確保できる体制を整え、将来的に部活動を学校単位から地域単位の取組とし学校以外が担うことについて提言を行った。

令和2年9月文部科学省はスポーツ庁と連名で、「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」により休日の部活動を令和5年度から段階的に地域移行することを目指すとしており、その実践研究とし、学校と地域が協働・融合した部活動の実現方策やスケジュールを示し、スポーツ庁では休日の地域部活動の全国展開に向け「地域運動部活動推進事業」の実施に至った。北海道では、当別町、紋別市、登別市を再委託先と決定し、地域の実情を踏まえた望ましい部活動の在り方の検討を目的として本事業を進めている。

2 当別町のテーマ＝地域移行と教員の兼職兼業

持続可能な部活動と学校の働き方改革の実現に向け、休日の部活動の段階的な地域移行や合同部活動等の推進に関する実践研究を実施することで、今後の当別町の部活動の在り方検討を行う。

3 期間 令和3年7月1日～令和4年2月28日

4 事業概要

(1) 管理

- ①実施方針策定
- ②地域運動部活動実践の共有と検討
- ③地域運動部活動の普及方法の検討
- ④地域協議会の設置、運営

(2) 指導者

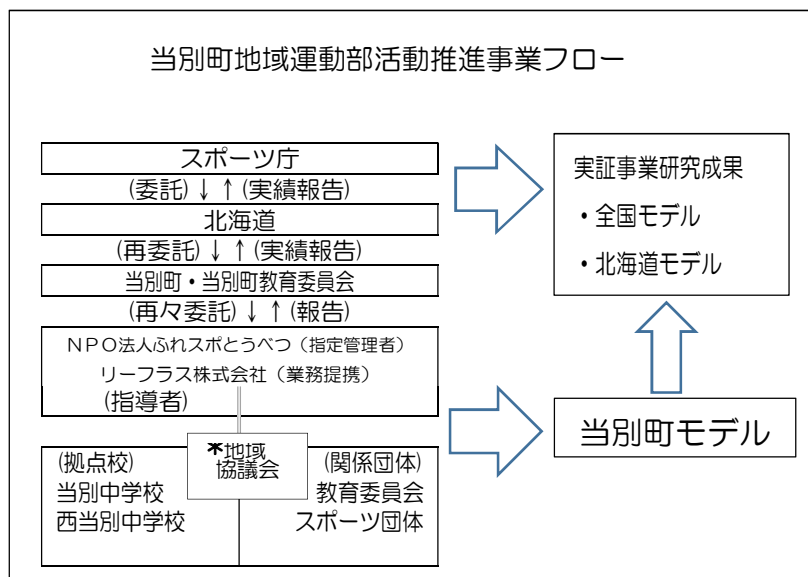
- ①人材発掘
- ②採用、雇用、登録
- ③研修
- ④配置

(3) 運営

- ①活動場所の点検
- ②運営課題
- ③事業発展に向けた協議
- ④各種報告

(4) まとめ

- ①アンケートの実施
- ②評価、報告書作成



5 拠点校と対象部活動及び目的

(1) 拠点校 当別中学校 (当中) 西当別中学校 (西当中)

(2) 対象部活動

①陸上部(当中)

競技専門の教員が不在なことから、平日と休日の活動において、専門の外部指導者を配置。外部人材の活用による、新しい部活動モデルの構築を検証する。

②野球部(当中、西当中合同)

バスケットボール部(当中、西当中合同)

両部とも競技専門の教員が顧問であるため、休日の活動のみを地域移行し、顧問教員が身分を兼職兼業とし指導にあたる。そのことの課題を検証する。

6 実施状況

(1) 部活動

- ①陸上部 外部専門指導者 による指導— 11日間、25時間の実施
- ②野球部 兼職兼業指導者 による指導— 6日間、16時間の実施
- ③バスケ部 兼職兼業指導者 による指導— 7日間、19時間の実施

(2) 当別町地域運動部活動推進協議会(地域協議会) 3回開催 上記フロー図の*

7 課題

- (1) 予算(指導者謝金、保険料等)
- (2) 事業の受け皿、指導者の確保
- (3) 平日部活動との兼ね合い(指導者が代わる等)

令和3年度 新たな生涯学習プログラムの展開（事業実績）

① 当別町小中高大生TOWNミーティング 「とうべつ学園MV（ミュージックビデオ）作成」

	日程	事業名	チーム	参加人数
1回目	6/22（火）	企画会議①	当小・当中	7
2回目	6/29（火）	企画会議②	当小・当中	6
3回目	7/9（金）	撮影①（町内撮影、ドローン空撮など）	当小・当中	7
4回目	7/13（火）	撮影②（町内撮影、ドローン空撮など）	当小・当中	7
5回目	7/20（火）	映像構成検討①	当小・当中	7
6回目	12/14（火）	撮影③（合唱・演奏録音）	当小・当中	中止
7回目	3月	撮影④（新校舎での撮影）	当小・当中	中止
8回目	3月	映像構成検討②	当小・当中	中止
-	(R4/7/1~)	MVをYouTube配信	当小・当中	800回視聴

当別町小中高大生TOWNミーティング 「当別町音楽祭」

	日程	事業名	チーム	参加人数
1回目	6/24（木）	企画会議	西当小・西当中	6
2回目	7/8（木）	撮影①（オープニングムービー録音など）	西当小・西当中	6
-	7月～10月	各学校の学校祭等での音楽発表撮影	西当小・西当中	-
3回目	11/18（木）	撮影②（進行部分撮影など）	西当小・西当中	6
-	12/4土～12/26日	当別町音楽祭YouTube配信	西当小・西当中	673回視聴

当別町小中高大生TOWNミーティング 「記念メニュー開発」

	日程	事業名	チーム	参加人数
1回目	6/23（水）	グルメミーティング① Zoom	当別高・医療大	5
2回目	7/8（木）	グルメミーティング② Zoom	当別高・医療大	4
-	7/15木～8/1日	道の駅での150周年記念メニュー販売	-	-
3回目	8/1（日）	学生による記念メニュー販売	当別高・医療大	4

当別町小中高大生TOWNミーティング 「全体会」

	日程	事業名	チーム	参加人数
1回目	10/5（火）	児童会、生徒会活動について意見交換等	-	14
2回目	10/12（火）	活動報告会	-	16
			合計	95

② 北海道医療大学連携講座

	日程	事業名	対象者	参加人数
1回目	11/26（金）	いつまでもいきいきと暮らすために	高齢者向け	28
2回目	1/28（金）	音楽を用いたリハビリテーション	高齢者向け	中止
			合計	28

③ 当別町歴史学習講座

	日程	コース	参加人数	コース	参加人数	参加人数小計
1回目	5/22（土）	入門編	中止	実践編	中止	中止
2回目	6/19（土）	入門編 Zoom	22	実践編 Zoom	11	33
3回目	7/17（土）	入門編 Zoom	19	実践編 Zoom	10	29
4回目	8/21（土）	入門編 Zoom	22	実践編 Zoom	13	35
5回目	9/18（土）	入門編 Zoom	20	実践編 Zoom	13	33
6回目	10/16（土）	入門編 会場とZoom併用	23	実践編 会場とZoom併用	14	37
7回目	11/20（土）	入門編 会場とZoom併用	21	実践編 会場とZoom併用	15	36
8回目	12/18（土）	入門編 会場とZoom併用	22	実践編 会場とZoom併用	14	36
9回目	1/15（土）	入門編 会場とZoom併用	18	実践編 会場とZoom併用	15	33
10回目	2/19（土）	入門編 会場とZoom併用	21	実践編 会場とZoom併用	11	32
11回目	3/19（土）	入門編 会場とZoom併用	20	実践編 会場とZoom併用	14	34
				合計		338

④ ことぶき大学

	日程	事業名	参加人数
1回目	7/30 (金)	講座手続き	44
2回目	8/6 (金)	パークゴルフ	延期
3回目	8/27 (金)	体力テスト	延期
4回目	9/9 (木)	音楽を楽しもう①和おん	延期
5回目	9/24 (金)	出前講座「報道写真の現場」	中止
6回目	10/8 (金)	絵手紙教室	21
7回目	10/22 (金)	パークゴルフ	20
8回目	11/9 (火)	音楽を楽しもう①和おん	30
9回目	11/19 (金)	体力テスト	24
10回目	12/10 (金)	ヤクルト出前講座「健腸長寿」	31
11回目	12/17 (金)	映画鑑賞「大地の侍」上映会	19
12回目	12/24 (金)	音楽を楽しもう②尺八と文学の話	27
13回目	1/14 (金)	和のフィットネス	中止
14回目	1/21 (金)	認知症やうつについて学ぼう	中止
15回目	2/4 (金)	出前講座「報道写真の現場」	中止
16回目	2/18 (金)	体は食べ物からできている	中止

ことぶき大学 課外・特別講座

	日程	事業名	参加人数
1回目	10/23 (土)	当別フットパス	参加中止
2回目	11/26 (木)	医療大学連携講座① いつまでもいきいきと暮らすために	28
3回目	1/28 (金)	医療大学連携講座② 音楽を用いたリハビリテーション	中止

ことぶき大学 多世代交流

	日程	事業名	参加人数
1回目			中止
合計			244

⑤図書館イベント等

	日程	事業名	参加人数
1回目	5月～3月	特別企画展10回実施	-
2回目	4/20火～5/16日	春の読書週間	中止
3回目	6/5 (土)	ライブラリーコンサート & 絵本の読み聞かせ	中止
4回目	11/30火～2/27日	P O P コンテスト作品展示	245
5回目	10/5火～11/7日	秋の読書週間	1067
合計			1312

健やかことぶき

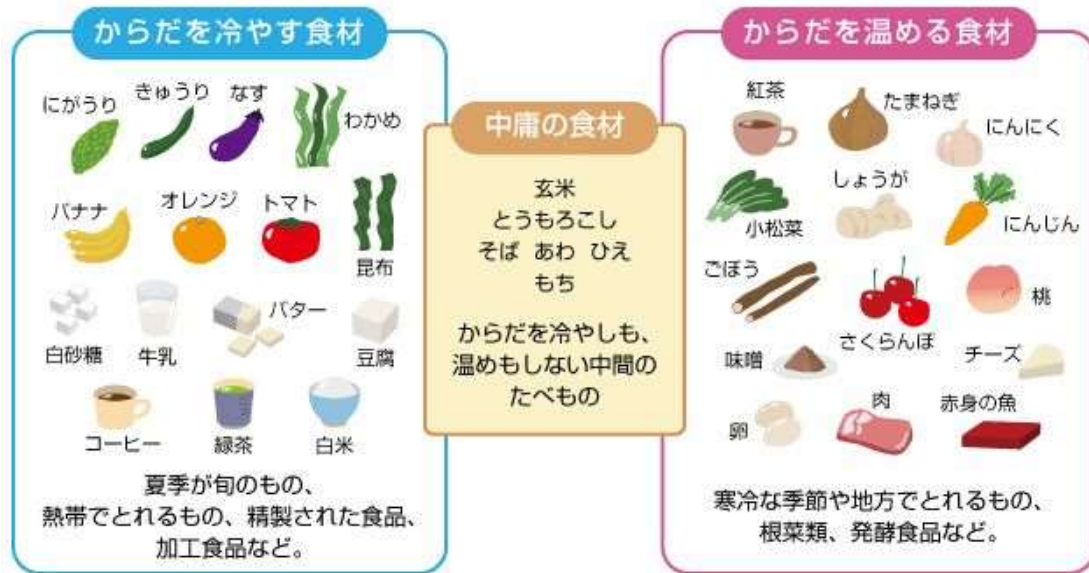
負けません！ マスクの下は笑顔です！

ことぶき大学情報紙

第 8 号

令和 3 年 10 月 22 日

当別町教育委員会



朝晩の冷え込みがますます厳しくなり、あちらこちらから雪の便りも聞こえてきました。寒くなってくると皆さんはどんなものを食べたくなるのでしょうか？食卓に鍋が上がるものが多くなる家庭もあるのではないのでしょうか？

上の図表は、2年前の11月に「健やかことぶき」で使った図表で、この時は「冷え性」について書きました。冷え性を改善するために、「①身体を温める食事を工夫する。②体を締め付ける衣服や靴を避け、ややぬるめの湯につかるなどをして体の隅まで血液を届ける。③十分な睡眠をとり適度な運動を行って自律神経を整える。」という3点を挙げましたが、この時期になると身体が欲しくなるのは「身体を温める食材」が中心ではないでしょうか。そして、その中には「旬」の食材が多く含まれていることがわかります。

夏は夏バテ防止に「身体を冷やす食材」、冬は冷え性防止に「身体を温める食材」と見比べてみると、「旬の食材」にはちゃんと意味があることがわかります。「旬の食材」しっかりと味わいましょう！ これからは鍋に爛酒が最高だよなあ。いや独り言……。

話は変わりますが「秋の夜はつるべ落とし」といわれる通り、日の入り時刻はすでに午後4時台となっています。夜の時間が長くなっていきますが、晴れた日の空は星がきれいに見渡せます。秋の夜長に暖かい格好で星座観測なんていうのもどうでしょうか？

どんなに経験を積み重ねて、似た場面を分類できたとしても、正解はその都度違うんですから。

ただ、選択肢の中に正解が含まれている率は、経験によって高まるんだと思います。
 (武豊：騎手)


～本は ともだち～

おすすめ本 POPコンテスト

本の紹介文を書いて、自分の好きな本の面白さをみんなに伝えよう！

POPの書き方（字だけでも絵を描いてもかまいません）


① 紹介したい本のおすすめポイント
心に残った言葉・シーンなど、ピックアップしよう！



この本のここが好き
誰かに読んでほしいなあ


②～チェックポイント～

- ・ 結末（終わり）は書かないようしよう！
- ・ 立ち止まるようなキヤッチコピー！




本の魅力をつたえるには・・・？

③ わかりやすい大きさ・字で書いてみよう



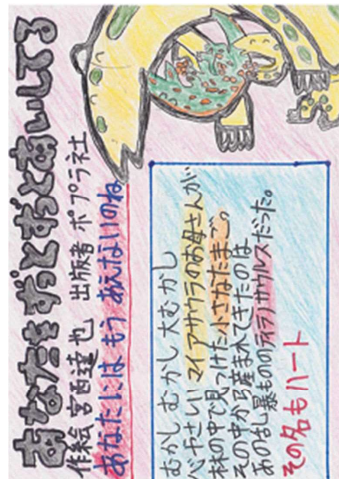
えほん
えほん

④ 絵や色で工夫しよう



か 描けたよ！

（見本）こんな感じに描いていますよ！チャレンジしてみてくださいね。



応募について・・・うら

令和3年度おすすすめ本 POP コンテスト開催要項

- 1 目的 おすすすめ本の POP 作成を通して、図書館をたくさん利用していただくとともに、読書のおもしろさ、大切さを感じてもらおう機会とします。
- 2 主催 当別町教育委員会
- 3 応募資格 町内の認定こども園の園児、小中学校の児童・生徒
- 4 部門 幼児の部門
小学校1,2年生の部門、3,4年生の部門、5,6年生の部門、中学生の部門
- 5 タイトル 当別図書館、西当別分館、学校図書館で貸出しをしている図書
もしくは、各自持っている図書
・ 幼児の部門は、「三匹のこぶた」のぬりえ
・ 小学生～中学生の部門は、自由
（雑誌・コミック・郷土資料・新聞を除く）
- 6 応募方法 所定の応募用紙に作品を描き、応募箱に入れてください。
応募箱は、当別図書館、西当別分館、認定こども園、小中学校に設置しています。応募は、1名につき1作品とします。
- 7 応募期間 5月25日（火）～7月31日（土）
- 8 注意点
 - ・ 表紙のイラストなど著作権を侵害するような既存作品（キャラクター・字体・デザイン等）使用できません。また、本の中身や帯、インターネットで公開されている紹介文をそのまま写した文章等の使用はできません。
 - ・ 応募作品は、返却できませんので、ご了承ください。
 - ・ 応募作品の著作権は、当別町教育委員会社会教育課に帰属します。
 - ・ 応募されたポップは、当別図書館、西当別分館で展示（9/1～9/30予定）、町ホームページに掲載いたします。
- 9 選考 当別町教育委員会職員により選考します。
（賞状、副賞の授与を予定しています）
- 10 問い合わせ 当別町教育委員会社会教育課（当別町図書館） TEL23-0573

令和3年度 授業等の支援実施状況

支援分野	実施状況（稼働ボランティア・支援日数・回数）
読書指導 (計6日、6回実施)	【当別小】 富士本亜希子さん 他3名 1～2年生で各3回 実施 【西当小】 土田悦子さん、大原慈子さん 1～2年生で各3回 実施 ※当初予定は、両小学校ともに5月から12月まで8回計画したが、コロナ感染症蔓延のため、5月から9月までは中止
スキー学習支援 (計11日、17回実施)	令和4年1月17日（月）～2月8日（火）（当初予定 14日間） 当小 8日、西当小 1日、当中・西当中 各4日 計11日、17回 延べ42人支援 池内芳美さん 10日、山下 勉さん 6日、原田栄子さん 6日、 萩原才行さん 8日、前川敏幸さん 4日、石崎聖一さん 7日 (教委：小松 1日)
水泳学習支援	今年度、水泳学習支援はすべて中止
柔道学習支援	今年度、柔道の授業はすべて中止
ミシン実習支援	今年度、ミシン実習の補助はすべて中止
クラブ活動支援	今年度、クラブ活動支援はすべて中止
夏休み学習会支援	各学校とも、今年度の夏休み学習会支援は中止



スキー学習指導の様子 1/17 西当中2年生



読み聞かせの様子 10/23 当小2年生

令和3年度 土曜教室等実施状況

支援分野	実施状況(会場・稼働ボランティア・参加数)
<p style="text-align: center;">土曜教室 (計3日実施)</p>	<p>(1) 6/19 ふるさと再発見① 航空自衛隊当別分屯基地見学 コロナ禍中止</p> <p>(2) 7/ 3 考古学体験教室 伊達山遺跡巡検他 コロナ禍中止</p> <p>(3) 9/ 4 ふるさと環境学習 フットパスツアー コロナ禍中止</p> <p>(4) 10/ 2 ふるさと再発見② 町内巡検 コロナ禍中止</p> <p>(5) 11/ 6 科学・生物体験教室(化石学習) 三笠博物館見学ツアー(有料) 講師 三笠博物館学芸員 参加数 21名</p> <p>(6) 12/11 百人一首「下の句かるた」体験教室① 当別プレイハウス 講師 絵内 賢一さん 参加数 8名</p> <p>(7) 12/18 百人一首「下の句かるた」体験教室② 西当別プレイハウス 講師 絵内 賢一さん 参加数 6名</p> <p>(8) 1/29 ものづくり・昔あそび「折り紙体験①」 コロナ禍中止</p> <p>(9) 2/19 ものづくり・美術「パステルアート体験」 コロナ禍中止</p> <p>(10) 3/ 5 ものづくり・昔あそび「折り紙教室②」 コロナ禍中止</p>
<p style="text-align: center;">放課後学習会 (小学校45日 中学校44日 計89日実施)</p>	<p>【当別小】 25日 参加数 延394名 佐藤妙子さん 25日、横山美保さん 24日、石川光子さん 19日 山上一郎さん 25日、米山奈津美さん 9日、松下千津子さん 15日 (教委:藤崎1日、若命1日、小松24日)</p> <p>【西当別小】 20日 参加数 延442名 石川光子さん 15日、斎藤昭子さん 1日、岡安 實さん 16日、 岡安恵子さん 6日、山上一郎さん 20日 米山奈津美さん 11日 (教委:小松20日)</p> <p>【当別中】 22日 参加数 延241名 絵内賢一さん 20日、桑原智子さん 21日 (教委:小松22日、若命4日)</p> <p>【西当別中】 22日 参加数 延193名 岡安 實さん 11日、岡安恵子さん 18日 (教委:小松17日、若命9日)</p>

支援分野	実施状況(会場・稼働ボランティア・参加数)
イングリッシュ・プロジェクト (計3日実施)	<p>【英会話練習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小1～小4対象 1日(7/10 白樺コミセン) ・小5～一般対象 1日(11/13 西コミセン) <p>【医療大留学生と交流会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生対象 1日(10/10 白樺コミセン) <p>森田靖子さん3日、松下知津子さん3日、寺山シルビーさん3日 太田ジェマさん3日 岡安恵子さん1日 他医療大留学生、職員3名 (教委:小松3日、吉田2日)</p> <p style="text-align: right;">参加数 48名</p>
土曜学習会 (計5日実施)	<p>【当別地区】 2日(1/8、2/5 白樺コミセン)</p> <p>岡安 実さん2日、菊地敦子さん2日 (教委:小松2日)</p> <p>【西当別地区】 3日(8/21、1/15、2/12 西コミセン)</p> <p>岡安 実さん3日、菊地敦子さん3日 (教委:小松3日)</p> <p style="text-align: right;">参加数 13名</p>



土曜教室「化石学習」の様子 11/6 三笠博物館



Eプロ「医療大学との交流会」 10/10 白コミ

令和4年度 新たな生涯学習プログラムの充実（事業実績）

R4.8.31現在

① 北海道医療大学連携講座

	日程	事業名	対象者	R4参加数	R3参加数
1回目	7/29（金）	健康寿命の伸ばし方～セラチューブ体操と栄養について	高齢者向け	20	
2回目	8/5（金）	ポンポンで小物を作ろう	子ども向け	24	
3回目	11/24（木）	音楽療法	高齢者向け		
4回目	12/23（金）	健康体操	高齢者向け		
5回目	1月	一日歯医者さん	子ども向け		
		合計		44	28

② 当別町歴史学習講座

	日程	コース		コース	R4参加数	R3参加数
1回目	5/21（土）	入門編	14	実践編	8	22
2回目	6/18（土）	入門編	17	実践編	9	26
3回目	7/16（土）	入門編	13	実践編	9	22
4回目	8/20（土）	入門編	13	実践編	7	20
5回目	9/17（土）	入門編		実践編		
6回目	10/15（土）	入門編		実践編		
7回目	11/19（土）	入門編		実践編		
8回目	12/17（土）	入門編		実践編		
9回目	1/21（土）	入門編		実践編		
10回目	2/18（土）	入門編		実践編		
11回目	3/18（土）	入門編		実践編		
				合計	90	338

③ ことぶき大学

	日程	事業名	R4参加数	R3参加数
1回目	5/13（金）	開講式	35	
2回目	5/27（金）	和のフィットネス	23	
3回目	6/10（金）	絵手紙	18	
4回目	6/24（金）	町内施設見学（ロイズタウン駅→toberryfarm→道の駅）	23	
5回目	7/8（金）	パークゴルフ	17	
6回目	7/22（金）	近隣市町村見学（近代美術館「古代エジプト展」）	20	
7回目	8/5（金）	町内施設見学（とうべつ学園）	20	
8回目	8/26（金）	パステルアート	14	
9回目	9/7（水）	当別高校調理		
10回目	9/30（金）	からだは食べ物からできている		
11回目	10/14（金）	和のフィットネス		
12回目	10/28（金）	音楽・尺八		
13回目	11/8（火）	音楽・和おん		
14回目	11/25（金）	リースづくりと冬の花管理		
15回目	12/9（金）	体カテスト		
16回目	12/23（金）	医療大学連携講座		
17回目	1/13（金）	新年お楽しみ会（映画&ビンゴ）		
18回目	1/27（金）	道新出前講座「写真が語るその瞬間」		
19回目	2/10（金）	健康・介護予防講座		
20回目	2/24（金）	町内施設見学（ロイズタウン駅、ロイズ工場）		
21回目	3/17（金）	修了式		

ことぶき大学 課外・特別講座

	日程	事業名	R4参加数	R3参加数
1回目	7/29（金）	医療大学連携講座① 健康寿命の伸ばし方	20	
2回目	9/10（土）	当別フットパス		
3回目	11/24（木）	医療大学連携講座② 音楽療法		
		合計	190	244

図書貸出冊数実績

R4.7.31現在

	当別町図書館 本館	当別町図書館 西当別分館	合計	対前年比
R2	16,130	14,976	31,106	-
R3	15,162	11,905	27,067	13.0%減
R4	6,650	5,953	12,603	

第4章 外部評価

冷川元彦氏（元中学校校長）

浜上尚也氏（北海道医療大学教授）

教育委員会において実施した事務事業評価に対し、教育に関し学識経験を有する方からは、次のとおり意見をいただきました。評価に対する意見及び助言を今後の取り組みに反映いたします。

1 学校教育分野について

学識経験者の意見	今後の取り組み等について
<p>小学校高学年で教科担任制が推進されていることは高く評価できます。その成果と課題について、評価、検証しながら更なる前進を期待しています。</p> <p>また、学級担任の役割を明確にし、教科担任との連携を大事にしてほしいと思います。（冷川氏）</p>	<p>現在、体育や音楽で教科担任制を導入していますが、今後は他の教科においても導入を予定しております。学級担任・教科担任の連携を図り、取り組みを推進してまいります。</p>
<p>学校への訪問は大切と考えますが、児童への面接等（学力低下している児童への指導等）は実施しているのでしょうか。（浜上氏）</p>	<p>生徒指導に関わる学校訪問となっており、直接児童生徒への面談は行っておりませんが、今後検討してまいります。</p>
<p>英語について自分の学習スキルを図る場を持つこと（つくること）も必要であると考えますがいかがでしょうか。（浜上氏）</p>	<p>生徒の英語力を把握する英検 IBA に加え、令和4年度より小6において英検 ESG を活用し、客観的な指標を通して英語力を把握していきます。</p>
<p>ICT を活用することは必要不可欠であると考えますので、実行内容については良い取り組みであると考えます。今後は、学習効果がどの様に向上しているかについて評価することが必要であると考えます。（浜上氏）</p>	<p>学習効果にかかわる評価の仕方などについても、今後に向けて検討してまいります。</p>

学識経験者の意見	今後の取組等について
<p>ICT 教育は持続する（止めないこと）が大切ですが、今後の方策としてどのようなことを考えておりますでしょうか。（浜上氏）</p>	<p>コロナ禍において引き続き ICT を活用した学びの保障を推進してまいります。</p> <p>また、今後は AI ドリルやメクビットを活用した ICT 活用を進めながら、個別最適な学習への取り組みを進めてまいります。</p>
<p>教職員のスキルアップが重要だと思いますので、研修には積極的に参加し、還流を図ったりしながら、全体のレベル向上を期待しています。（冷川氏）</p>	<p>今日的な教育課題の解決に向け、教職員も学び続けることが必要な時代となっており、今後も様々な研修会を捉えて、教職員の資質向上を図ってまいります。</p>
<p>児童生徒一人一人を大切にした教育の充実を図るための第一歩として支援体制を整備しているのは評価できます。（冷川氏）</p>	<p>学習への困り感や特別な配慮を要する児童生徒の支援等、今後も必要な人員配置に努めてまいります。</p>
<p>当別の歴史や産業や町づくりなど、講師を招いて学習機会提供しているのは素晴らしいことだと思います。児童生徒がふるさと当別の未来を考え、提案したり、将来的に町づくりに参画していけたら最高だと考えます。（冷川氏）</p>	<p>地域の優れた人材を活用した学習機会を提供することで、児童生徒に当別の良さを実感してもらおうとともに自分の人生をデザインすることのできる人材育成に努めてまいります。</p>
<p>道徳的な啓発は、今後も継続してほしいと思います。（浜上氏）</p>	<p>今後も教科「道徳」を中心としながら、児童生徒の意識の啓発、道徳心の育成に努めてまいります。</p>
<p>小中合同道徳における外部講師の活用や合同道徳で児童・生徒に自主性を持たせることは、良い方策であると考えます。（浜上氏）</p>	<p>小中合同道徳は、子どもたちが主体的に考える道徳の推進に有効であると考えます。今後も、互いの学びを深め、人権意識を高める取り組みに努めてまいります。</p>

学識経験者の意見	今後の取組等について
<p>いじめの体験や目撃した時など報告しやすい環境づくりが大切であります。守秘義務が守られる、また、相談の持ち込みやすい第三者的な部署をつくるのが大切であると考えますが、そのような場はあるのでしょうか。</p> <p>児童、生徒からの相談について、本人のプライバシーが守られ、カウンセラーを配置するなど相談しやすい体制となっておりますでしょうか。(浜上氏)</p>	<p>日ごろから、複数の教員による児童生徒への目配り、声掛け、相談体制を重視し、情報共有を図っております。担任と児童生徒の向き合う時間を最も大切にしておりますが、第三者的な支援として、SC、SSW を配置し、いじめ防止を図っております。</p>
<p>いじめや不登校の実態が見えないため、現状や今後の課題について、あるいは、ここ数年のいじめ不登校数の推移などしっかりと情報提供してほしいです。(冷川氏)</p>	<p>いじめ、不登校数については、個人情報との関わりや生徒指導との配慮等で情報の取り扱いに十分配慮し、提供に努めてまいります。</p>
<p>食育指導においてオンラインを利用した他校との情報交換の取り組みは、自分たちの現状や取り組みを評価するうえでも重要であると考えます。(浜上氏)</p>	<p>今後もオンラインを有効活用した取り組みを継続してまいります。</p>
<p>体力の低下が叫ばれている昨今、実践を積み重ねていくことは重要です。今後は、体力テストの結果を踏まえて、日常生活の中で体力づくりや運動習慣につなげる手立てを地域や家庭と一緒に考えていってほしいと思います。(冷川氏)</p>	<p>コロナ禍において、体力低下も危惧されておりますが、今後は家庭への啓発に努めてまいります。</p>
<p>体力測定において、機関内組織等を活用することは良いことだと考えます。</p> <p>また、データから今後の方策を考えると良いと思いますが、計画はありますでしょうか。(浜上氏)</p>	<p>体力測定の結果については、毎年、分析を進め、当別町体力向上プランに反映させているところです。今後も結果分析をもとに方策を検討し、周知に努めてまいります。</p>
<p>運動に対しては目標を設定し、取り組める内容があると良いと思います。全員が進んで取り組んでいるのか、確認する必要があると考えます。(浜上氏)</p>	<p>体力測定でのこれまでの個人の記録をもとにした目標設定に努めるとともに、主体的な取り組みとなっているかの確認については、検討してまいります。</p>

学識経験者の意見	今後の取組等について
<p>児童生徒が家庭で親と一緒にお弁当を作って持ってくる「お弁当の日」を年に1回でも設定してみてもいいでしょうか。(冷川氏)</p>	<p>食育の向上に向けて検討を進めてまいります。</p>

2 社会教育分野について

学識経験者の意見	今後の取組等について
<p>新型コロナの流行により、せっかく計画していた事業が中止となり残念です。 学校でもリモートが積極的に活用されていますので、医療大や日体大との連携でも活用してはいかがでしょうか。(冷川氏)</p>	<p>リモート等を有効活用して可能な限り活動できるよう努めてまいります。</p>
<p>講演会などは Zoom を活用して実施することにより、受講生が増えることは良い方策と思いますが、今後は Zoom 上でもグループワークなどを実施できるように進めていただきたいです。(浜上氏)</p>	<p>できるだけ対面での事業展開を考えておりますが、状況によっては Zoom のブレイクアウトルーム機能の活用も検討してまいります。</p>
<p>令和5年度からの「地域学校部活動」に向けて予算を計上していただき、これまでの検証を活かし実施していただきたいです。(浜上氏)</p>	<p>今後も情報収集し、地域移行への検討を進めてまいります。</p>
<p>高齢者においてはオンラインの活用が難しい面もあります。参加者を会場に集めて外部講師を遠隔から招聘することも可能ですので、新しい試みをしていただきたいです。(浜上氏)</p>	<p>オンラインを有効活用した新しい事業展開も検討してまいります。</p>
<p>地域学校協働本部事業による児童生徒への支援において、コロナ禍対応に尽力いただいているので、今後も可能な限り対応いただきたいです。(浜上氏)</p>	<p>コロナ禍でも支援が途切れないよう努めてまいります。</p>
<p>ことぶき大学は、バラエティに富んだ内容で高齢者の皆さんに大好評のようです。年々、高齢化が進み医療費の負担が大きくなってきていますので、「健康・体力づくり」が重要な課題と言えます。関係機関との連携・協力を今まで以上に推進し、「健康・体力づくりの生活化」を目指す取り組みを期待します。(冷川氏)</p>	<p>今後も高齢者の「健康・体力づくり」につながる充実した事業を目指してまいります。</p>

学識経験者の意見	今後の取組等について
<p>放課後学習会は、一定の成果をあげていると思います。社会教育課と学校がさらに連携を密にすることで、児童生徒一人ひとりの基礎学力の向上がより一層期待できるのではないのでしょうか。(冷川氏)</p>	<p>今後も学校と連携を図り、基礎学力の向上に寄与する取り組みとなるよう努めます。</p>
<p>「地域運動部活動推進事業」は教員の負担軽減が大きいなねらいだと思いますが、外部指導者と学校・教員の指導内容や方法に差異が生じると、生徒に不安、混乱を来すので、しっかり連携の取れた対応を望みます。(冷川氏)</p>	<p>様々な課題が挙げられますが、生徒に不安や混乱を招くことがないように外部指導者と学校の連携を深めながら進めてまいります。</p>
<p>学校部活動の地域移行を計画的に推進していただきたいです。諸事情はあると考えますが、生徒に不利にならないように遂行していただきたいです。(浜上氏)</p>	<p>今後も情報収集し、地域移行への検討を進めてまいります。</p>
<p>図書館運営の充実を図るためには、やはり専門の資格を所有する司書の配置が不可欠だと考えます。有資格者が少ないという根本的な課題もあると思いますが、勤務条件（勤務する曜日、時間帯、待遇等々）について柔軟な対応が必要ではないのでしょうか。現状では、土日の勤務もあり、平日も17時15分まででは、小中学生を子に持つ親は難しいと考えます。(冷川氏)</p>	<p>働きやすい勤務条件や職場環境について検討してまいります。</p>
<p>図書に触れる機会が多いことは大切であると思います。電子図書の選定・購入はどのように進んでいるのでしょうか。(浜上氏)</p>	<p>電子図書については、費用が多額になることから導入に至っておりません。費用対効果を見定めながら検討を進めてまいります。</p>

3 子育て・幼児教育分野について

学識経験者の意見	今後の取組等について
<p>今年度から運營業務を民間委託にしましたが、その評価・検証をしっかり行い、来年度に生かして行ってほしいと思います。何よりも子どもたちの安全・安心を最優先に考え保護者の皆さんからも信頼されるプレイハウスを築いて行ってください。(冷川氏)</p>	<p>9月に利用者アンケートを実施し、結果を受託者と共有しております。町としては、アンケート結果をもとに評価を行い、今後の事業運営について受託者と協議を行い、質の向上を目指してまいります。</p>
<p>学童保育を充実させることは、重要であると考えます。どの様な展開を目指し、運営委託業者を選定したのでしょうか。(浜上氏)</p>	<p>「児童の育成支援」、「特色のある取組」、「安心・安全体制」、「支援員の雇用、配置、指導体制」の向上を目指しプロポーザル方式で業者を選定いたしました。</p> <p>配慮の必要な児童に対する支援体制や安心・安全な体制、支援員のバックアップ体制、特色のある活動など他社と比べ大きく期待できることが評価につながりました。</p>
<p>児童虐待防止の相談を受ける場合の個人情報保護や守秘義務については十分であるか、確認する必要があると思います。(浜上氏)</p>	<p>現在も個人情報の慎重な取扱いをしておりますが、今後も引き続き徹底してまいります。</p>
<p>保育支援者配置事業等により業務の負担軽減が図られ、保育の質向上につながったということですので、今後も保育士、支援者の増員を得られるように努めていただきたいと思います。(冷川氏)</p>	<p>認定こども園での保育士業務の負担状況等を確認しながら、必要に応じて検討してまいります。</p>
<p>幼保小の接続プログラムが果たす役割は大きなものがあります。小学校入学前はもちろんですが、入学後にも情報交換や課題の共有を図り、次年度に生かして行ってほしいと思います。(冷川氏)</p>	<p>5月にこども園と学校で新1年生の情報共有会議を開催し、同時に今後の幼保小連携事業計画について協議しております。</p>
<p>新1年生における情報共有会議は、どのように実施していますか。また、問題点の解決は、どの様な手順で実施していますか。(浜上氏)</p>	<p>また、学校生活に馴染めない児童については、学校主催で支援会議を行っております。</p>

《資料編》

1 教育委員会委員名簿

(令和4年11月1日現在)

氏名	生年月日	任期	
教育長 三澤 吏佐子	S35. 8. 4	1期	令和4年10月1日から令和7年9月30日
教育長職務代理者 武岡 和廣	S24. 9. 4	1期 2期 3期 4期	平成22年10月1日から平成26年9月30日 平成26年10月1日から平成30年9月30日 【委員長職務代理者】 平成24年10月1日から平成28年9月30日 【教育長職務代理者】 平成28年10月1日から平成30年9月30日 平成30年10月1日から令和4年9月30日 令和4年10月1日から令和8年9月30日
委員 寺田 郷子	S40.10. 6	1期 2期 3期	平成23年12月15日から平成27年12月14日 平成28年12月15日から令和元年12月14日 令和元年12月15日から令和5年12月14日
委員 小林 泰雄	S47. 1.13	1期 2期 3期	平成24年10月1日から平成28年9月30日 平成28年10月1日から令和2年9月30日 令和2年10月1日から令和6年9月30日
委員 佐々木 成尉	S48.6.1	1期 2期	平成29年11月1日から令和3年10月31日 令和3年11月1日から令和7年10月31日

《令和3年度》当別町教育推進計画

めざす人間像

つけさせたい力と
めざす児童生徒像

～社会を背負う、世界にも通用する「知・徳・体」を備えた人～

- 基礎基本に基づく発展的学力、自ら学ぶ意欲 ～夢や希望を表現するため努力し、行動できる子ども～
- 豊かな人間性 ～自分を大切に、未来に向かって行ける子ども～
- 健全な心身 ～全ての基盤となる強い心と体を持った子ども～
- コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力 ～自分で考え自分の言葉で伝え、相手の意見に耳を傾け、人間関係を築ける子ども～
- 当別が好きなお子とも ～当別に誇りを持ち、どこにいても当別を応援する子ども～

学校教育		学校教育		社会教育	
<p>重点目標</p> <p>主體的・対話的で深い学びにより、将来の夢や希望を実現するために必要な学力を育成する。</p>	<p>【重点1】 確かな学力の育成(知)</p> <p>1 小中学校連続した教育課程の編成と実施</p> <p>① 「主體的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業改善</p> <p>② 小学校授業改善推進チーム(チームJ)の視点を取り入れた授業改善</p> <p>③ 新しい取り組みへの挑戦(とうべつ未来学、教科担任制、学びのハンドブック)</p> <p>④ GIGAスクール事業(一人一台端末配置、授業改善、オンライン授業研究等)</p> <p>2 学びを支える人的支援</p> <p>① 学校教育指導主事の派遣</p> <p>② 学力向上推進講師の配置(英語、算数・数学、各2名)による教科担任制試行</p> <p>③ 小・中学校へのA.L.T継続配置による外国語教育の充実</p> <p>④ 特別支援教育支援員継続配置(各校2名)による特別支援教育の充実</p>	<p>【重点2】 豊かな心の育成(徳)</p> <p>自分を大切に、人を大切に、ふるさとを大切にす心を全教育活動を通じて育成する。</p> <p>1 教科「道徳」を中心とした心の育成</p> <p>2 小中学校間の情報共有と発達段階を踏まえた原簿・生徒指導</p> <p>3 小中合同事業の開催(児童会や生徒会、いじめ撲滅集会、ボランティア活動等)</p>	<p>【重点3】 健やかな体の育成(体)</p> <p>自分を支える基本である健全な身体を、全教育活動を通じて育成する。</p> <p>1 小中学校間の情報共有と発達段階を踏まえた体力向上の取り組み</p> <p>2 一校一実践</p> <p>3 食育指導</p>	<p>達成指標</p> <p>全国学力・学習状況調査等学力検査結果全国平均以上</p>	<p>課題</p> <p>●とうべつ学園開校準備(開校準備委員会、教育課程編成委員会のマネジメント強化)</p> <p>●予期せぬ事態への対応(新型コロナウイルス感染症防止対策の継続、GIGAスクール構想の推進による「学びを止めない」仕組みの構築、教職員研修の充実、マニュアルの改善)</p> <p>●高等教育機関との連携 ●いじめ、不登校対策の充実(青少年センターの機能拡充) ●三課共同による「知・徳・体」育成の取り組み</p>
<p>重点目標</p> <p>【基本方針】</p> <p>●子どもの健やかな成長のための支援</p>	<p>【重点1】 子育て支援の充実</p> <p>1 地域や関係機関との連携による子育て支援</p> <p>2 子どもブレイクハウスの活動の充実(学習活動、スポーツ活動等)</p> <p>3 児童虐待防止のための各機関との連携</p> <p>4 子育て短期支援事業(ショートステイ)の実施</p> <p>交流事業の参加者前年度比10%以上増、児童虐待及び一時保護事業ゼロ</p> <p>●保育人材の確保支援</p> <p>●予期せぬ事態への対応(新型コロナウイルス感染症防止対策の継続、コロナ禍における認定こども園、子どもブレイクハウスの運営形態の見直し ●三課共同による子育て支援、幼児教育・保育の推進)</p>	<p>【重点2】 幼児教育・保育の充実</p> <p>1 認定こども園の教育・保育活動の充実</p> <p>① 保育支援者配置事業</p> <p>② 加算保育士配置事業</p> <p>2 就学に向けた幼保小間の接続プログラムの推進</p> <p>待機児童ゼロ</p>	<p>【重点2】 地域学校協働本部事業による児童生徒、学校支援</p> <p>1 地域学校協働本部事業による授業への講師派遣</p> <p>2 放課後学習会、土曜教室、イングリッシュ・プロジェクト等の充実</p> <p>3 学校運営協議会に対する支援</p> <p>4 図書館司書の学校派遣</p> <p>学校要望100%達成、児童生徒貸出図書数の増</p>	<p>達成指標</p> <p>新たな連携事業の展開、各事業参加者満足度80%以上</p>	<p>課題</p> <p>●第3次当別町子ども読書活動推進計画の推進(2021年度から施行)</p> <p>●予期せぬ事態への対応(新型コロナウイルス感染症防止対策の継続、社会教育施設運営の継続)</p> <p>●社会教育施設整備(総合体育館等) ●とうべつ学園図書館開設準備 ●三課共同による生涯学習事業、児童生徒・学校支援の推進</p>

点検・評価

- 教育委員会は、自己点検・評価を行い、事務事業評価を行い外部による点検・評価を受ける。
- 学校は、各校で自己点検・評価を行い、さらに学校運営協議会評価部会による評価を受ける。

学 校 経 営 計 画

基本理念
(教育大綱)

1. 目指す人間像「社会を背負う、世界にも通用する『確かな学力・豊かな心・健やかな体』を備えた人」の育成
2. 幸せを実感できる生涯学習社会の実現

小中一貫教育で
つけさせたい力

1. 基礎基本に基づく発展的学力、自ら学ぶ意欲
2. 豊かな人間性
3. 健全な心身
4. コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力
5. 当別が好きな子ども

基本方針	小中一貫教育6年目、新たなステージへ～併設型、一体型それぞれの小中一貫教育推進～		
学びの連続性を踏まえた教育課程の編成・実施による 確かな学力(知)、豊かな心(徳)、 健やかな体(体)の育成	【重点1】 確かな学力の育成(知)	【重点2】 豊かな心の育成(徳)	【重点3】 健やかな体の育成(体)
学校教育	<p>1. 主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ① 小学校高学年で一部教科担任制を実施(加配、講師、学力向上推進講師4名、乗入れ、担任相互) ② 情報教育(1人1台端末の活用、情報活用能力やモラル教育の充実) ③ 外国語教育(ALT配置(2名)、英検I.BAの活用) ④ 特別支援教育(支援員8名・介助員2名・看護師1名配置、巡回相談チーム・専門家の活用) ⑤ 学校教育指導主事による指導助言 2. とうべつ未来学 「ふるさと教育、国際理解教育、キャリア教育」の3本柱による教科横断的学習</p>	<p>1. いじめ防止、不登校児童生徒支援 (指導主事や各校生活指導担当、顧問 弁護士、いじめ問題調査委員、道の SCやSSWの活用) 2. 全教育活動を通じて自他の命を大切に する教育 (道徳教育への位置づけ、講演講師選定)</p>	<p>1. 1校1実践や新体力テストの実施 (スポーツ推進協議会、大学との連携 協力) 2. 美味しい給食の提供をはじめとする 食育指導の充実 (地場産食材、校長のリーダーシップ、 教頭の調整力を発揮した当別高校の メニュー開発、地域との連携)</p>
達成指標	全国学力・学習状況調査等学力検査、NRT結果全国平均以上	いじめゼロ、不登校改善	全国体力調査、全種目全国平均以上
課題	1. 第5次当別町教育推進計画遂行(令和2年度施行) 2. 教育環境の整備 3. とうべつ学園の運営(教育課程、行事、環境等) 4. 地域や外部の教育資源の活用 5. 教職員研修(夏季・冬季)の開催 6. 予期せず事態の対応(新型コロナウイルス感染症防止対策の継続、1人1台端末による「学びを止めない」仕組みの充実、児童生徒指導事故に対する支援) 7. 働き方改善【部活動の在り方検討(休日の地域部活動研究)、1年単位の变形労働時間導入、教職員・事務職員の標準的職務内容の明確化] 8. 各中学校区コミュニティ・スクワール(CS)の支援		
基本方針	【重点1】 新たな生涯学習プログラムの充実		
全ての町民が幸せを実感できる 生涯学習社会の実現	【重点2】 児童生徒支援の充実	【重点3】 図書館機能の充実	
社会教育	<p>1. 授業への講師派遣 2. 放課後学習会、土曜教室、地域巡検の実施 3. スポーツ活動に対する支援 (地域運動部活動事業の推進、北海道医療大学や日本 体育大学との連携)</p>	<p>1. 子ども読書活動推進 2. 学校図書館への指導・助言 (司書の活用、とうべつ学園図書室地域開放検討) 3. 主権事業の企画立案 4. 町図書館運営のさらなる充実</p>	
達成指標	事業への参加者前年比10%増 学校要望100%、学習会参加者前年比10%増	貸出図書数前年比10%増	
課題	1. 第5次当別町教育推進計画の遂行(令和2年度施行) 2. 第3次当別町子ども読書活動推進計画の遂行(令和2年度施行) 3. 社会教育施設の整備(総合体育館、図書オンライン予約システム) 4. コロナ禍における事業実施の工夫 5. とうべつ学園図書館の運営支援 6. ボランティア活動の充実(図書館、古文書解析)		
基本方針	【重点1】 子育て支援の充実		
子どもの健やかな成長	【重点2】 幼児教育・保育の充実	【重点3】 発達支援センター機能の充実	
子ども未来	<p>1. 子どもプレイルームの保育活動充実(委託初年度に 関する評価) 2. 社会教育や福祉部等各部署との連携による保護者 (子育て)支援 (子育て)支援 3. 児童虐待防止や発生時の学校をはじめとする関係機関 との調整</p>	<p>1. 療育支援の質向上のための関係職員の専門性向上 2. 発達支援センターと学校・保護者との適切な情報共有 3. 福祉部局との連携による早期療育支援</p>	
達成指標	関係機関との連携強化	利用者満足度90%以上	
課題	1. 第5次当別町教育推進計画の遂行(令和2年度施行) 2. 第2次子ども・子育て支援事業計画の遂行(令和2年度施行) 3. 幼児小児接続プログラムの遂行(令和2年度作成) 4. 子どもプレイルームの円滑運営(委託初年度) 5. 関係機関との連携、情報共有の在り方		

点検評価

1. 学校は、自己点検・評価を行い、さらに学校運営協議会による評価を受ける。
2. 教育委員会は、自己点検・評価を行い、外部評価を受け、議会へ報告する。

学校経営計画

3 令和3年度教育関係予算・決算並びに令和4年度教育関係予算

(単位：円)

款	項	目	令和3年度					令和4年度	
			予 算 現 額		支 出 済 額	翌 年 度 不 用 額 [繰越明許費]	予 算 現 額		
			予 算 額	繰越事業費額			予 算 額	繰越事業費額	
3 民生費	2 児童福祉費	1 児童福祉総務費	314,000	0	188,639	0	125,361	308,000	0
		3 保育所費	367,660,000	0	359,723,388	0	7,936,612	370,775,000	0
		4 子育て支援センター費	3,602,000	0	3,192,819	0	409,181	3,945,000	0
		5 子ども発達支援センター費	20,934,000	0	20,441,239	0	492,761	21,031,000	0
		6 子どもプレイハウス費	23,394,000	0	21,976,441	0	1,417,559	36,580,000	0
		小 計	415,904,000	0	405,522,526	0	10,381,474	432,639,000	0
		合 計	415,904,000	0	405,522,526	0	10,381,474	432,639,000	0
9 教育費	1 教育総務費	1 教育委員会費	1,747,000	0	1,700,200	0	46,800	1,747,000	0
		2 事務局費	4,355,000	0	3,914,756	0	440,244	4,722,000	0
		3 教育振興費	71,918,000	0	68,936,533	0	2,981,467	9,576,000	0
		4 スクールバス運営費	71,619,000	0	64,329,732	0	7,289,268	69,217,000	0
		5 学校給食費	133,813,000	0	126,832,657	0	6,980,343	176,131,000	0
		6 施設費	4,156,457,000	0	4,154,636,334	0	1,820,666	789,226,000	0
		小 計	4,439,909,000	0	4,420,350,212	0	19,558,788	1,050,619,000	0
	2 義務教育費 (R3は、小学校費・ 中学校費の合算。R4 より、義務教育学校 費に改称)	1 学校管理費	75,141,000	0	70,070,473	0	5,070,527	91,569,000	0
		2 教育振興費	43,678,000	0	36,168,729	0	7,509,271	99,599,000	0
		3 施設費	13,515,000	0	13,097,200	0	417,800	17,230,000	0
	小 計	132,334,000	0	119,336,402	0	12,997,598	208,398,000	0	
	3 社会教育費	1 社会教育総務費	9,215,000	0	8,203,233	0	1,011,767	9,748,000	0
		2 社会教育施設費	44,212,000	0	42,035,812	0	2,176,188	42,197,000	0
		3 文化財保護費	4,049,000	0	3,992,522	0	56,478	4,061,000	0
		4 指導センター費	2,883,000	0	2,656,761	0	226,239	2,851,000	0
		5 青少年費	673,000	0	196,847	0	476,153	673,000	0
		小 計	61,032,000	0	57,085,175	0	3,946,825	59,530,000	0
	4 保健体育費	1 保健体育総務費	51,106,000	0	47,754,755	0	3,351,245	51,293,000	0
		2 プール運営費	1,142,000	0	1,064,594	0	77,406	2,011,000	0
		3 総合体育館費	15,452,000	0	13,936,689	0	1,515,311	140,573,000	0
		小 計	67,700,000	0	62,756,038	0	4,943,962	193,877,000	0
	合 計	4,700,975,000	0	4,659,527,827	0	41,447,173	1,512,424,000	0	